

EPSON

EMP-8350 EasyMP.net™

活用ガイド

EMP-8350 EasyMP.net™

活用ガイド

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

お使いになる前に

安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見れる
場所に、保証書とともに大切に保存してください。

保証書別添

説明書中の表示の意味

一般情報に関する表示

 注意	プロジェクターの故障や損傷の原因や、正しく動作しないおそれがある内容を示しています。
 ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。『取扱説明書』の「付録 用語解説」をご覧ください。
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(メニュー名)]	画面に表示されているボタンやメニュー名を示しています。 例： [OK] [ネットワーク] [LAN]

「プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

目次

プロジェクターからの操作	3
動画やデジタルカメラの画像を表示する (EasyPlayer)	4
ファイルの選択	4
動画の再生	6
音声の再生	7
デジタルカメラの画像 (静止画) を表示する	8
静止画にコメントを付け加える	9
ファイルのコピー / 移動 / 削除 / 実行 (EasyFile)	10
ファイルの選択	10
コピーと移動	10
ファイルの削除	11
ファイルの実行	11
ホームページを表示する (EasyBrowser)	12
操作方法	12
表示したページにコメントを付ける	14
プレゼンテーション中に説明書きをする	15
投写映像にマーキングやコメントを付ける (EasyMarker)	15
各ツールの使い方	16
ホワイトボードとして使う (EasyBoard)	19
ネットワーク上のコンピュータを操作する (Remote Desktop)	20
リモート接続する方法	20
EasyMPnetの各種設定を行う (EasyConfiguration)	24
EasyMPnetユーザーの管理	24
システムに関する基本設定 (システム設定)	26
ネットワーク (LAN) に関する設定 (ネットワーク設定)	27
各機能の動作に関する設定 (アプリケーション設定)	30
スケジュールにより自動的に投写する (タイマ設定)	33
コンピュータからの操作 (ネットワーク経由)	35
コンピュータの映像をプロジェクターで投写する (Network Screen)	36
操作を始める前に	37
プロジェクターに接続する	39
グループを作成して接続する	45
グループのエクスポートとインポート	48
ツールバーの使い方	51
ネットワーク接続を切断する	55

コンピュータでプロジェクターの設定をする (EasyWeb).....	56
操作を始める前に	57
EasyWebを表示する	57
EasyConfiguration	59
EasyMenu	60
EasyRemote	61
プロジェクターの状況確認と制御を集中管理する (EMP Monitor).....	62
監視するプロジェクターを登録する	63
EMP Monitorメイン画面	66
困ったときに	71
故障かなと思ったら	72
インジケータを見てもわからないとき	72
設定した内容が保存されないとき	73
無線LANの接続ができなかったら	74
無線LANカードが正しくセットされていますか	74
無線LANの設定は正しいですか	74
EMP NS Connectionでプロジェクターが見つからなかったら	76
ネットワークの設定は正しいですか	76
NetworkScreenの制限事項	76
付 録	79
ネットワーク接続構成例	80
構内ネットワーク環境がある場合	80
構内ネットワーク環境がない場合	87
ソフトウェアの追加インストール	89
インストール方法	89
インストールしたプログラムを起動する	91
異常通知のメールが送られてきたら	92
索引	93

プロジェクターからの操作

プロジェクターに搭載された EasyMP.net は、プレゼンテーションに必要な機能を備えています。シンプルかつ高機能な各機能の操作方法について説明します。

動画やデジタルカメラの画像を表示する (EasyPlayer)	4
ファイルの選択	4
• プレイリスト	5
• フォルダ内の静止画ファイルを連続再生	5
動画の再生	6
音声の再生	7
デジタルカメラの画像 (静止画) を表示する	8
静止画にコメントを付け加える	9
ファイルのコピー / 移動 / 削除 / 実行 (EasyFile)	10
ファイルの選択	10
コピーと移動	10
ファイルの削除	11
ファイルの実行	11
ホームページを表示する (EasyBrowser)	12
操作方法	12
• 操作ボタン	12
• 別のウィンドウを表示する	13
表示したページにコメントを付ける	14
プレゼンテーション中に説明書きをする	15
投写映像にマーキングやコメントを付ける (EasyMarker)	15
• 起動方法	15
• ツールバー	15
各ツールの使い方	16
• プロパティツール	16
• 消しゴムツール / 最初に戻すツール	18
• ペンツール	16
• 元に戻すツール	18
• スタンプツール	17
• 保存ツール	18
• 文字ツール	17
• 終了ツール	18
ホワイトボードとして使う (EasyBoard)	19
• ツールで描くには	19
• 背景色とペン色の初期値の変更	19
ネットワーク上のコンピュータを操作する (Remote Desktop)	20
リモート接続する方法	20
• コンピュータ側の設定 (Windows XP Professional)	20
• プロジェクター側の設定 (EasyMP.net)	21
EasyMP.netの各種設定を行う (EasyConfiguration)	24
EasyMP.netユーザーの管理	24
• ユーザーの登録、編集、削除	24
• アクセス権の管理	25
システムに関する基本設定 (システム設定)	26
• 日時の設定	26
• EasyMP.netのメンテナンス	26
• キーボードレイアウトの設定	26
ネットワーク (LAN) に関する設定 (ネットワーク設定)	27
• プロジェクター名の設定	27
• メール通知機能の設定	29
• ネットワークケーブルを使ったネットワークの設定	27
• プロジェクター監視の設定	29
• 無線LANの設定	28
各機能の動作に関する設定 (アプリケーション設定)	30
• Network Screenの設定	30
• EasyBrowserの設定	31
• EasyBoardの設定	30
• EasyPlayerの設定	31
スケジュールにより自動的に投写する (タイマ設定)	33

動画やデジタルカメラの画像を表示する (EasyPlayer)

動画、音声、静止画を再生するには、EasyPlayerを使います。EasyPlayerを起動するには、メインメニューで[EasyPlayer]をクリックします。

EasyPlayerでは、以下のような動画、音声、静止画ファイルを再生/表示することができます。

ファイルの形式/種類	拡張子
Windows Media(オーディオ/ビデオファイル)	.asf、.asx、.wma、.wmv
Windows オーディオ/ビデオファイル	.avi、.wav
MPEG(Moving Picture Experts Group)	.mpeg、.mpg
MP3	.mp3
静止画ファイル	.bmp、.jpg、.jpeg、.png

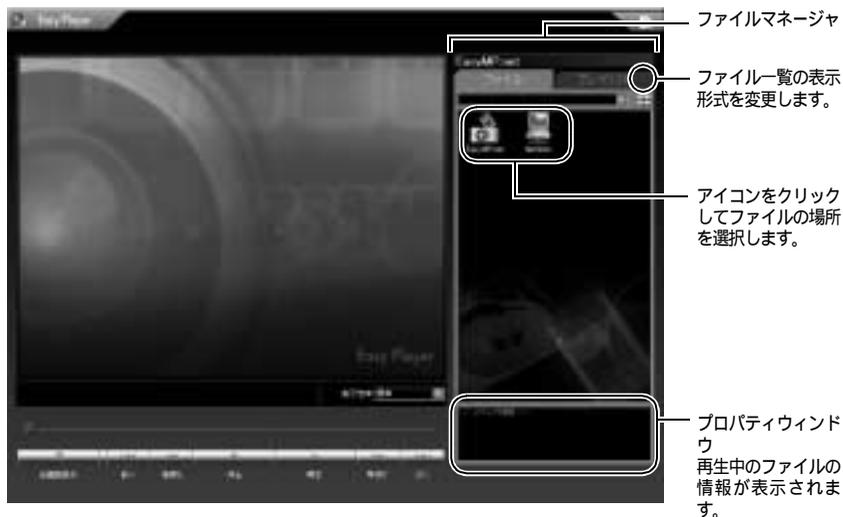


ポイント

初回起動時は、EasyPlayerの初期設定を行う必要があります。画面の指示にしたがって設定してください。この処理は一度行えば、以降は必要ありません。

ファイルの選択

EasyPlayerでファイルを選択して開くには、右側のファイルマネージャを使います。[EasyMP.net]または[NetWork]をクリックしてファイルの場所を選択し、ファイルのあるフォルダに移動します。



ファイルの一覧表示は、をクリックするたびに下の図のように大きいアイコン、小さいアイコン、詳細表示の順で切り替わります。



プレイリスト

動画ファイル、音声ファイル、プレイリストファイルをダブルクリックすると、ASXファイルに記述されているリスト情報が、プレイリストに表示されません。

[プレイリスト]タブをクリックすると、プレイリストを表示できます。

プレイリストの項目をダブルクリックすると、指定した項目を再生することができます。

プレイリストの項目を選択しないで[再生]をクリックすると、プレイリストの最初の項目が再生されます。

項目の再生が終了すると、続けて次の項目が再生されます。次の項目がない場合は、停止状態になります。

プレイリストの項目の順番は、ASXファイルに従います。項目の順番を並べ替えることはできません。



フォルダ内の静止画ファイルを連続再生

ファイルマネージャのフォルダを右クリックして、[スライドショー再生]を選択すると、フォルダ内の再生可能な静止画ファイルを連続再生することができます。スライドショーのときの再生間隔やエフェクトを変更するには、EasyConfigurationで行います。☛ p.31



動画の再生

目的の動画ファイルをダブルクリックすると、再生を開始します。再生開始後は、操作ボタンでビデオデッキと同様に「一時停止」「再生」「巻き戻し」「早送り」が行えます。操作ボタンの[巻き戻し]と[早送り]は、ボタンを押している間だけ巻き戻しと早送りされます。



全画面表示

画面全体に表示するには[全画面表示]をクリックします。全画面表示のときの操作は、右クリックして表示されるボタンから行います。



全画面表示終了

音声の再生

MP3などの音声ファイルは、動画と同様に目的の音声ファイルをダブルクリックすると、再生を始めます。再生開始後は、操作ボタンで「一時停止」「再生」ができます。音声再生時には、EasyPlayerに以下のような映像が表示されます。



全画面表示

画面全体に表示するには[全画面表示]をクリックします。全画面表示のときの操作は、右クリックして表示されるボタンから行います。



全画面表示終了

デジタルカメラの画像(静止画)を表示する

デジタルカメラで撮影したJPEG形式のファイル(.jpg、.jpeg)やWindowsビットマップファイル(.bmp)などの静止画ファイルをダブルクリックします。表示した画像は、回転させることができます。デジタルカメラで縦に撮影された画像を回転させるには、操作ボタンの[左回転]または[右回転]をクリックするか、表示された画像を右クリックして[画像右回転]または[画像左回転]を選択します。



[左回転]と[右回転]で
画像の向きを変えます。

全画面表示します。

全画面表示

画面全体に表示するには[全画面表示]をクリックします。全画面表示のときの操作は、右クリックして表示されるボタンから行います。



左回転

右回転

非表示

全画面表示終了

静止画にコメントを付け加える

コメントはEasyMarkerを使って付け加えます。
全画面表示(● p.8)した画像を右クリックして[EasyMarker]を選択すると、EasyMarkerが起動します。



EasyMarker起動



コメントを付けた画像は保存することができます。
EasyMarkerの使い方 ● p.15

ファイルのコピー/移動/削除実行 (EasyFile)

ファイルを操作するには、EasyFileを使います。EasyFileを起動するには、タスクマネージャから[EasyFile]をクリックします。



注意

市販のメモリカードには、書き込み禁止機能を有するものがあります。EasyFileでメモリカードに書き込むときは、必ず書き込み可能な状態になっていることを確認してから書き込んでください。書き込み禁止状態のメモリカードに書き込みもうとすると、EasyMP.netの動作が不安定になることがあります。万一、動作が不安定になった場合は、EasyConfigurationから初期化を行ってください。

ファイルの選択

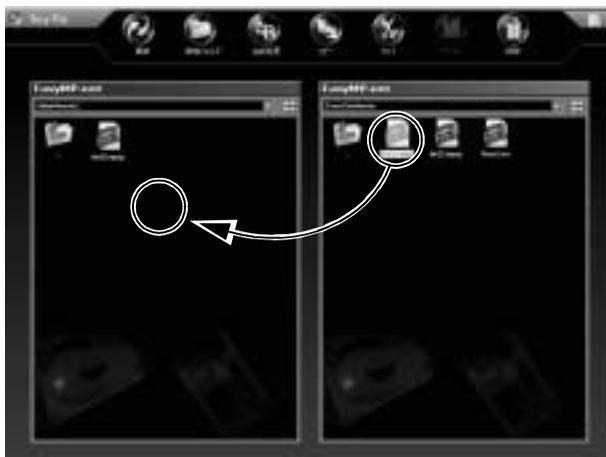
EasyFileでファイルを選択するには、[EasyMP.net]と[NetWork]やフォルダをクリックしてファイルの場所を選択していきます。

ファイルの一覧表示は、をクリックするたびに下の図のように大きいアイコン、小さいアイコン、詳細表示の順で切り替わります。



コピーと移動

EasyFileでファイルをコピーや移動するには、右から左または左から右のファイルマネージャヘドラッグします。ネットワーク上のファイルも、コピーや移動ができます。また、上部の[コピー] [カット] [ペースト] をクリックしてコピーや移動を行うこともできます。



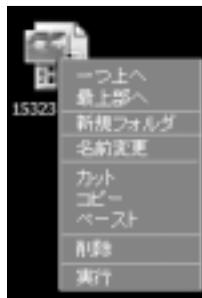
ファイルの削除

ファイルを削除するには、目的のファイルをクリックして[削除]をクリックします。複数のファイルを一度に削除するには、ドラッグして範囲選択してから[削除]をクリックします。キーボードとマウスを使う場合は、[Shift]キー(範囲選択)または[Ctrl]キー(1ファイルずつ選択)を押したままクリックして選択することもできます。



ファイルの実行

ファイルを実行したり、関連付けされたソフトウェアで開いて表示するには、ファイルをダブルクリックするか、右クリックして[実行]を選択します。



注意

プロジェクターの環境設定メニューで「言語」が英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語のいずれかに設定されている場合は、ファイル名に日本語、韓国語、中国語が使われているファイルを実行できないことがあります。この場合は、英数字のみのファイル名に変更してください。

ホームページを表示する (EasyBrowser)

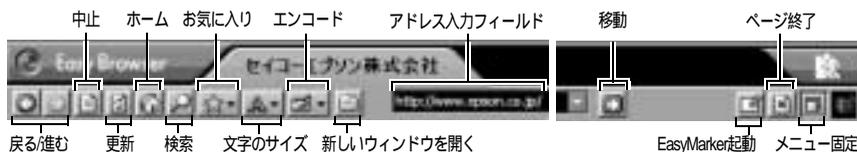
ホームページを表示するには、EasyBrowserを使います。EasyBrowserを起動するには、メインメニューで[EasyBrowser]をクリックします。

EasyBrowserは複数のホームページを表示できるタブ型ブラウザです。プレゼンテーションを行う場合、あらかじめ別ウィンドウに表示しておき、タブで切り替えて次々と投写することができます。

操作方法

上部にあるツールバーボタンとタブをクリックして、ホームページを表示させて投写を行います。

操作ボタン



ボタン	名称	操作内容
	戻る/進む	表示したページ間を移動します(戻る、進む)
	中止	表示途中のページの読み込みを中止します。
	更新	表示中のページを更新します。
	ホーム	ホームに設定されたページを表示します(ホームの設定 ● p.31)
	検索	検索に設定されたページを表示します(検索ページの設定 ● p.31)
	お気に入り	ページをお気に入りに追加したり整理します。
	文字のサイズ	表示されるページの文字のサイズを変更します(初期値は中)
	エンコード	ページで使用する言語のエンコード(言語と文字セット)を変更します。
	新しいウィンドウを開く	別ウィンドウを開きホームページを表示します。
	移動	アドレス入力フィールドに入力されたURLのページに移動します。

ボタン	名称	操作内容
	EasyMarker起動	EasyMarkerを起動して説明書きを追加します(コメントの追加方法  p.15)
	ページ終了	ページを表示しているウィンドウを閉じます。
	メニュー固定	ツールバーとタブの表示/非表示を切り替えます。非表示のときには、カーソルを上端に移動するとツールバーとタブが表示されます。

URLによるページの表示

Web ページを表示するには、アドレス入力フィールドにインターネットの URLを入力し、[移動]をクリックします。

見たいページがお気に入り追加されている場合は、[お気に入り] をクリックして選択します。

全画面表示

画面全体に表示するには、[メニュー固定] をクリックします。全画面表示のとき、マウスポインタ() を画面の上端に移動すると、メニューバーが表示され、操作を行えます。

全画面表示をやめるには、画面を右クリックして表示されるメニューで [メニュー固定] にチェックを付けます。

別のウィンドウを表示する

別のウィンドウを開くには、[新しいウィンドウを開く] をクリックします。タブをクリックすると、別ウィンドウに表示が切り替わります。同時に8つまでウィンドウを表示して、切り替えて表示することができます。

このタブをクリックして別ウィンドウを表示



表示したページにコメントを付ける

ツールバーの[EasyMarker 起動]をクリックすると、現在表示しているページにマーキングやコメントを追加することができます。書き入れたものを画像ファイルに保存して後で利用することも可能です。

マーキングやコメントの追加について ● p.15



プレゼンテーション中に説明書きをする

投写映像にマーキングやコメントを付ける(EasyMarker)

EasyBrowserやEasyPlayerで投写中、いつでもEasyMarkerを起動して、コメントなどを書き加えることができます。EasyMP.netを使って説明しながら投写するときに、色でマーキングしたりスタンプで矢印をつけたり、文字を書き入れたりして強調することができます。

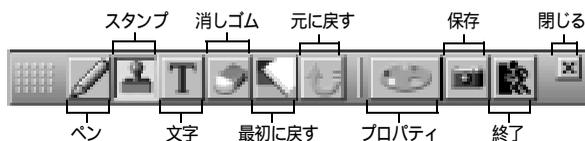
起動方法

各機能から起動する方法は、下の表のとおりです。

EasyBrowser	ツールバーの  をクリックします。
EasyPlayer	静止画像の全画面表示のときに右クリックして  をクリックします。動画の表示のときには起動できません。
プロジェクターにインストールしたアプリケーションを起動中	マウスの中ボタンをクリックします。または、リモコンの [Effect] ボタンを押します。

ツールバー

ツールバーにあるボタンをクリックして、描いたり消したりします。



ボタン	名称	説明
	ペン	自由に線を描くことができます。半透明色で描くとマーカーペンのように下の文字や絵が見える状態で色を付けることができます。
	スタンプ	クリックした箇所にスタンプ(14種類)を付けられます。
	文字	文字を入力することができます。
	消しゴム	描いたものを部分的に消します。
	最初に戻す	描いたものをすべて消します。
	元に戻す	最後に行った操作を取り消します。

ボタン	名称	説明
	プロパティ	自由線、スタンプ、テキスト、消しゴムのプロパティ表示/非表示を切り替えます。
	保存	描いた状態を画像ファイルで保存します。
	終了	EasyMarkerを終了します。描いた状態は保存されません。
	閉じる	EasyMarkerツールバーを閉じます。再度ツールバーを表示するには、画面上で右クリックします。

各ツールの使い方

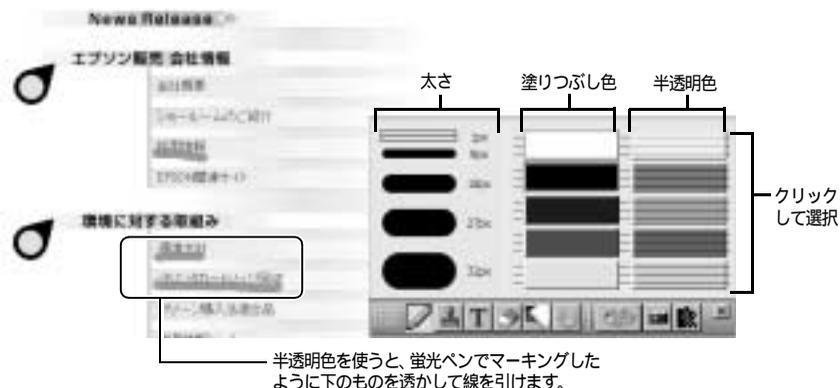
プロパティツール

自由線、スタンプ、テキスト、消しゴムツールのパレット表示と非表示を切り替えます。プロパティは、それぞれのツールの太さや形、色などを変更することができます。

ペンツール

えんぴつ形のポインタをドラッグして、自由に線を描くことができます。描く太さや色を変更するにはプロパティから選択します。

ペン色の初期値は、EasyConfiguration( p.30)で変更できます。



スタンプツール

強調したい箇所に、矢印などをスタンプを押すようにクリックして描くことができます。スタンプの形には14種類あり、プロパティから選択して使います。左上の2つ(横線と縦線)は、画面に端から端まで直線を引きます(色や太さは変更できません)。



文字ツール

文字を入力したいところを左上から右下にドラッグすると、ドラッグした範囲に文字入力用の枠が表示され、枠内に文字を入力することができます。文字の大きさや色は、プロパティから選択できます。文字入力枠内では、文字の入力・削除が行えます。

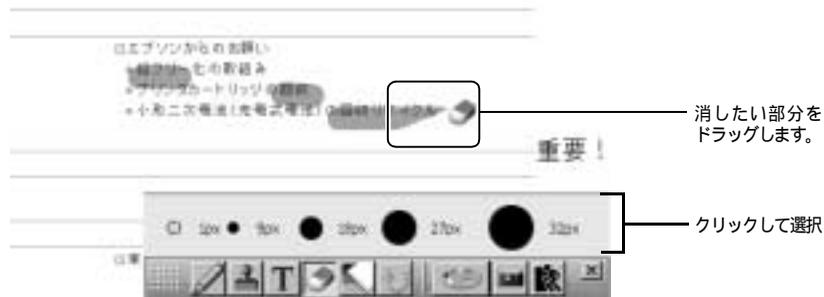


文字入力を終了するには、文字入力枠の外をクリックします。入力した文字が画像として表示されます。いったん画像になった文字は、テキストとして修正することはできません。

消しゴムツール / 最初に戻すツール

消しゴムツールを使うと、消しゴム形のポイントをドラッグして、EasyMarkerで描いたものを部分的に消すことができます。消す幅は、パレットから選択できます。

描いたものをすべて消すには、最初に戻すツールをクリックします。投写している元の画像は消えません。



元に戻すツール

元に戻すツールをクリックすると、最後に行った操作を取り消せます。もう一度クリックすると操作が再実行されます。2つ以上前の操作に戻ることはできません。

保存ツール

保存ツールをクリックすると、描いた状態がビットマップ形式のファイルで保存されます。保存するファイル形式は、EasyConfiguration( p.30)でJPEG形式に変更できます。ファイルは、プロジェクターにログオンしたユーザー専用のフォルダ(ユーザーIDと同じ名前)内に保存されます。

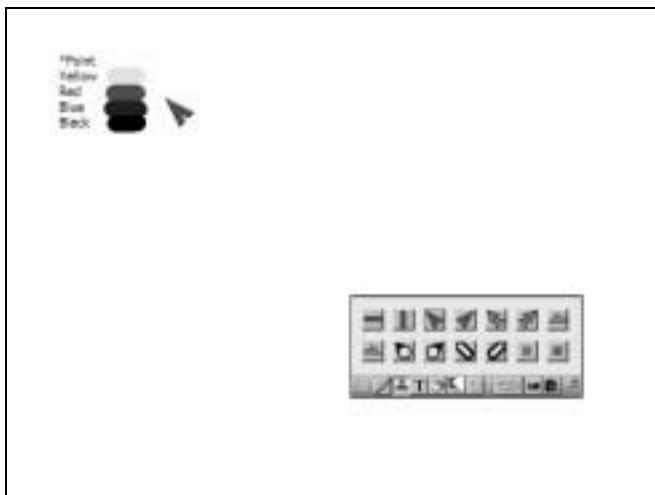
●『EasyMP.net セットアップガイド』の「ユーザー登録とデータ管理について」

終了ツール

終了ツールをクリックするとEasyMarkerが終了し、元の画面に戻ります。描いた内容はすべて消去されます。描いた状態は、保存ツールで保存しないかぎり、ファイルに保存されません(保存しなくても警告表示は出ずに終了します)。

ホワイトボードとして使う(EasyBoard)

EasyBoardを使うと、プロジェクターをホワイトボードのように使うことができます。起動すると何も無いところにツールバーのみが表示され、ツールを使って自由に描きはじめることができます。



ツールで描くには

ツールの使い方は、EasyMarkerのツールと同じになります。

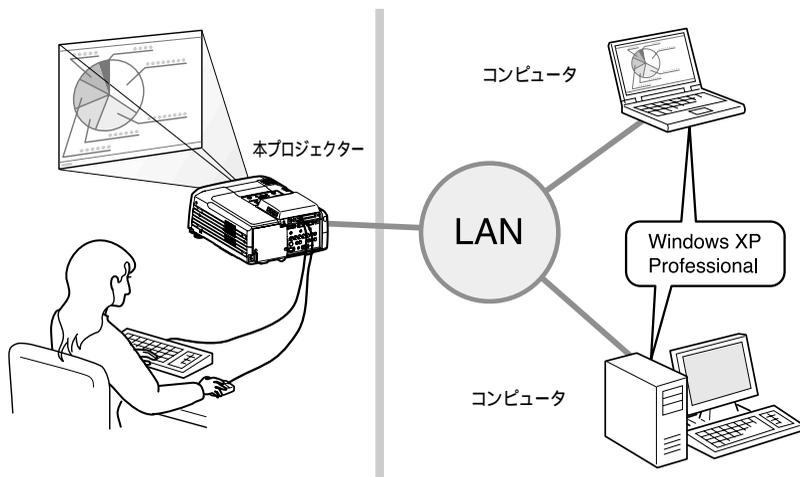
● p.16 「各ツールの使い方」

背景色とペン色の初期値の変更

背景色とペン色の初期値を変更するには、EasyConfiguration(● p.30)で行います。明るいところでは背景色を黒、暗いところでは背景色を白にすると見やすくなります。

ネットワーク上のコンピュータを操作する(Remote Desktop)

Remote Desktopを使用すると、EasyMP.netからネットワーク上のWindows XP Professionalコンピュータをリモート操作できます。コンピュータにリモートからログオンして、そのコンピュータにインストールされたアプリケーションを利用して投写を行うことが可能になります。



リモート接続する方法

リモート接続とは、ネットワーク上のWindows XP Professionalコンピュータをサーバとし、EasyMP.netがクライアントとなって接続することです。接続するためには、EasyMP.netとコンピュータの両方をそれぞれ設定する必要があります。



EasyMP.netのRemote DesktopとNetwork Screenを併用することはできません。

コンピュータ側の設定(Windows XP Professional)

サーバにするネットワーク上のWindows XP Professionalコンピュータは、次の手順でリモートデスクトップを有効にします。

操作

- 1 [スタート] [コントロールパネル]をクリックし、[システム]をクリックします。

- 2 [リモート]タブをクリックし、[このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する]にチェックを付けます。
Windows XP Professionalの初回起動時に作成したユーザー(管理者)はアクセス権がありますので、手順3~4の操作は必要ありません。
- 3 [リモートユーザーの選択]をクリックし、[追加]をクリックします。
- 4 リモートアクセス可能なユーザーを設定して[OK]をクリックします。
Administratorsグループのユーザーは、設定しなくてもアクセス権があります。また、ユーザーのパスワードの設定がされていない場合は設定します。



ポイント

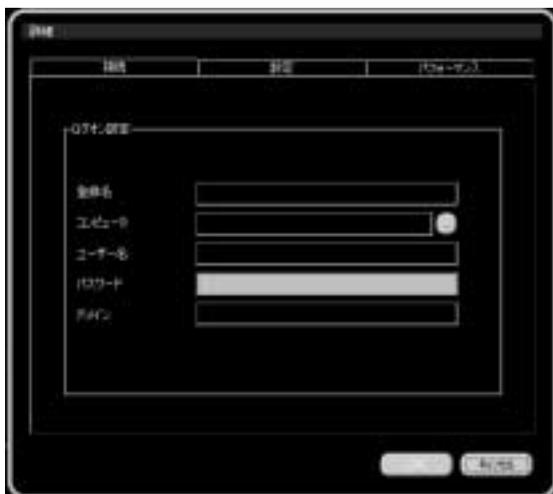
ユーザーにはパスワード設定が必要です。[スタート] [コントロールパネル]をクリックし、[ユーザーアカウント]をクリックします。利用するユーザーアカウントを選択してパスワードを設定します。

【プロジェクター側の設定 EasyMP.net）

EasyMP.netからは次のような手順で接続します。

操作

- 1 メインメニューまたはタスクマネージャから[Remote Desktop]をクリックして起動します。
- 2 [新規作成]をクリックします。
- 3 接続設定のダイアログボックスが表示されます。各項目の設定(下表を参照)を入力して[OK]をクリックします。
設定が登録されたアイコンが作られます。



項目	説明
登録名	後でわかりやすい名前を入力します。
コンピュータ	リモート操作したい Windows XP コンピュータのコンピュータ名または IP アドレス**を入力します。
ユーザー名	Windows XP で許可したユーザー名を入力します。
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。
ドメイン	ドメイン名を入力します。

[設定] タブや [パフォーマンス] タブでは、接続時の高度な設定ができません(下表を参照)。

項目	説明
画面の色	リモート接続したときの画面の色を指定します。サーバ側の設定によっては使用できるカラー解像度が制限される場合があります。
リモートコンピュータのサウンド	サウンドの再生をどちら側で行うか指定します。
キーボード	キーボード設定をどちら側の設定に従うかを指定します。
プログラムの起動	接続時に起動するプログラムを指定します。 [接続時に次のプログラムを起動] にチェックを付け、プログラムのパスとファイル名、起動フォルダを入力します。

項目	説明
次の設定を許可する	接続の速度によって以下の設定を指定できます。すべて選択するには、LANで10Mbps以上が必要です。
デスクトップの背景	デスクトップの背景表示をするかどうかを指定します。
ドラッグ中にウィンドウの内容を表示	ドラッグ中にリモート接続したウィンドウの内容を表示するかどうかを指定します。
メニューとウィンドウアニメーション	サーバ側のメニュー表示やウィンドウアニメーションをクライアント側で有効にするかどうかを指定します。
テーマ	サーバ側の画面の背景、アイコン、音声などの設定をクライアント側で有効にするかどうかを指定します。
ビットマップのキャッシュ	クライアント側でビットマップのキャッシュを行うかどうかを指定します。

- 4 登録されたアイコンをダブルクリックすると、接続ダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力し、[OK]をクリックして接続します。



正常に接続されるとWindows XPの「Windowsへのログオン」画面がプロジェクトから投写され、EasyMP.netでWindows XPのデスクトップが操作できます。

リモート接続を終了するには、画面上端にマウスポインタ()を移動し、  をクリックします。

EasyMP.netの各種設定を行う(EasyConfiguration)

ネットワークの設定やアプリケーションの既定値などの設定を行うには、EasyConfigurationを使います。設定するには、左側のメニューをクリックして行います。



設定したいメニューをクリックします。

EasyMP.netユーザーの管理

ユーザーの登録、編集、削除

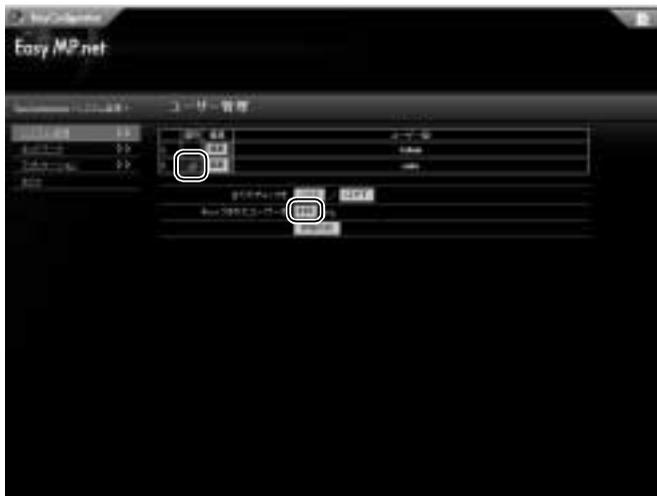
[システム管理] [ユーザー管理]

ユーザー登録するには[新規作成]をクリックして以下の設定をします。一度設定したユーザーを編集するには、編集したいユーザーIDの横にある[編集]をクリックして、設定を変更します。

ユーザーID	EasyMP.net内で使用するIDを入力します。半角英数字1~20文字で入力してください。記号は使えません。
パスワード	ログオン時のパスワードを入力します。半角英数字0~14文字で入力してください。
パスワード再入力	確認のために、設定したパスワードを再入力します。
EasyMP.net管理者	ユーザーをEasyMP.netの管理者に設定する場合はチェックを付けます。EasyMP.netの管理者に設定されたユーザーは、EasyConfigurationで設定変更を行えます。また、アクセス制限を受けません。
パスワードを変更する	ユーザーの編集のときに表示されます。パスワードを変更する場合はチェックを付けます。

ユーザーの削除

ユーザーを削除するには、削除したいユーザーにチェックを付けて[削除]をクリックします。



アクセス権の管理

[システム管理] [アクセス管理]

コンピュータからブラウザでEasyMP.netにアクセスするユーザーに与えるアクセス権の設定です。アクセスする方法についてはp.56を参照してください。

共通フォルダへのアクセス	共通フォルダ「EveryOne」へのアクセス権を指定します。
EasyMenuへのアクセス	コンピュータからブラウザでプロジェクターの設定を行うEasyMenuへのアクセス権を指定します。
EasyRemoteへのアクセス	コンピュータからブラウザでプロジェクターの電源や音声などのコントロールを行うEasyRemoteへのアクセス権を指定します。

システムに関する基本設定(システム設定)

日時の設定

[システム管理] [日時]

プロジェクター内部の時計を設定します。

年	現在の年月日・時刻を設定します。「時」は0～23の範囲(24時間制)で設定してください。
月	
日	
時	
分	
タイムゾーン	地域を設定します。
サマータイム	米国サマータイムが設定できます。 (米国以外の国のサマータイムは設定できません。)

キーボードレイアウトの設定

[システム管理] [キーボード]

使用するキーボードレイアウトの設定をします。[キーボードレイアウト]から使用する言語を選択します。

EasyMP.netのメンテナンス

[システム管理] [メンテナンス]

プロジェクターの設定を初期化します。

初期化実行	すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。
-------	-----------------------

ネットワーク(LAN)に関する設定(ネットワーク設定)

プロジェクト名の設定

[ネットワーク] [プロジェクト名]

ネットワーク上で識別するために使用されるプロジェクトの名前を設定します。

プロジェクト名	プロジェクト名は、半角で15文字以内で入力してください。 プロジェクト名には、半角英数字と「-」(ハイフン)が使えます。数字だけのプロジェクト名は設定できません。 設定後、プロジェクトが再起動します。
ワークグループ	Windowsネットワークのワークグループ名を入力します。

ネットワークケーブルを使ったネットワークの設定

[ネットワーク] [LAN]

ネットワークケーブルを使ってネットワーク接続するときのネットワーク設定です。

MACアドレス▶▶	MACアドレスが表示されます。
DHCP▶▶	DHCPを利用してIPアドレス▶▶を自動的に割り当てる場合は[ON]を選択します。 IPアドレスを手動で設定する場合は[OFF]を選択します。
IPアドレス▶▶	プロジェクトに割り当てる固定IPアドレスを入力します。
サブネットマスク▶▶	サブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ▶▶アドレス	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。
プライマリDNS	DNSの第一IPアドレスを入力します。
セカンダリDNS	DNSの第二IPアドレスを入力します。
WINS1	WINSサーバの第一IPアドレスを入力します。
WINS2	WINSサーバの第二IPアドレスを入力します。
DNSドメイン名	DNSドメイン名を入力します。

無線LANの設定

[ネットワーク] [無線LAN]

無線LANカードをプロジェクターのPCカードスロットにセットして使用する場合のネットワーク設定です。

プロジェクターに無線LANカードがセットされていない場合、無線LANの設定はできません。

MACアドレス▶▶	セットした無線LANカードのMACアドレスを表示します。
DHCP▶▶	DHCPを利用してIPアドレス▶▶を自動的に割り当てる場合は[ON]を選択します。 IPアドレスを手動で設定する場合は[OFF]を選択します。
IPアドレス▶▶	固定IPアドレスを入力します。
サブネットマスク▶▶	サブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ▶▶アドレス	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。
プライマリDNS	DNSの第一IPアドレスを入力します。
セカンダリDNS	DNSの第二IPアドレスを入力します。
WINS1	WINSサーバの第一IPアドレスを入力します。
WINS2	WINSサーバの第二IPアドレスを入力します。
DNSドメイン名	DNSのドメイン名を入力します。
ESSID	無線LANユニットのESSIDを入力します。
WEP	通信中のデータを暗号化する場合は[有効]を選択し、暗号キーを入力します。WEPで暗号キーを登録しておく、同じ暗号キーが登録されている機器同士でないとデータの通信が行えなくなります。 暗号キーは半角英数字で、以下の文字数で入力してください。 ASCII文字入力の場合：5または13文字 16進数入力の場合：10または26文字 (WEPキーは1つだけ設定できるので、キー IDは不要です。)
アドホックモード	アクセスポイントを使わずに、無線LANパソコンと直接通信する場合は[有効]を選択します。 Network Screenで「簡単接続モード」(● p.36)を使う場合は、[有効]を選択してください。

メール通知機能の設定

[ネットワーク] [メール通知機能]

ネットワークで接続されたプロジェクターとコンピュータ間で、メール通知機能を使って、プロジェクターの異常をメールで通知するときの設定です (● p.92)。

メール通知機能	メール通知を行う場合に[ON]を選択します。
宛先メールアドレス1	通知メールの送信先メールアドレスを指定します。宛先メールアドレス1に指定したアドレスは、送信者アドレスとしても利用されます。宛先メールアドレスは、3件まで登録できます。
宛先メールアドレス2	
宛先メールアドレス3	
SMTPサーバIPアドレス	SMTPサーバのIPアドレス▶とポート番号を指定します。
通知イベントの指定	通知するイベントと、その番号が表示されます。
宛先メールアドレス1	画面表示されている「通知イベントの指定」のイベントとその番号を参照し、各アドレスに通知するイベントの番号にチェックを付けます。すべてのイベントを通知する場合は、[All]にチェックを付けます。
宛先メールアドレス2	
宛先メールアドレス3	
テストメール	[テスト]をクリックすると、メール通知のテストメールが送信されます。

プロジェクター監視の設定

[ネットワーク] [SNMP]

ネットワークで接続されたプロジェクターとコンピュータ間で、SNMP▶を使ってプロジェクターの状態を監視するときの設定です。

トラップIPアドレス1	状態を知らせるコンピュータのIPアドレスを入力します。トラップIPアドレス▶は、2件まで登録できます。
トラップIPアドレス2	
コミュニティ名	SNMPのコミュニティ名を入力します。半角英数字8文字以内で入力してください。

各機能の動作に関する設定(アプリケーション設定)

Network Screenの設定

[アプリケーション] [Network Screen]

Network Screenを使用するかどうかを設定します。また、Network Screenでコンピュータの映像を投写するときに、接続のためのプロジェクターキーワードを使用するかどうかを設定します。

Network Screen	Network Screenを使用する場合は、[使用する]を選択します。
プロジェクターキーワード	プロジェクターキーワードを使用する場合は[使用する]を選択します。 プロジェクターキーワードを使用すると、Network Screenで投写中に、別室などから届く、無線LANの電波による意図しない割り込みでプレゼンテーションが妨害されるのを防げます。 プロジェクターキーワードは自動設定されます。
簡単接続	Network Screenで「簡単接続モード」(● p.36)を使用する場合、[有効]を選択します。 簡単接続を[有効]に設定するには、無線LANの設定 (● p.28)でアドホックモードが[有効]に設定されている必要があります。 ここで[有効]に設定すると、有線LANが使用できなくなります。

EasyBoardの設定

[アプリケーション] [EasyBoard]

EasyBoardの背景色とペン色の初期値と、保存ファイルの設定です。

背景色	投写する場所により、背景の色を[白]と[黒]から選択します。 明るい所では黒、暗い所では白に設定すると見やすくなります。
デフォルトペン色	起動直後のペンの色を指定します。
保存形式	保存するファイルの形式を指定します。BMPまたはJPEGから選択します。
画質(JPEG選択時のみ有効)	JPEG形式で保存する場合、画像の画質を選択します。

EasyBrowserの設定

[アプリケーション] [EasyBrowser]

EasyBrowserでインターネットのホームページを表示するときの各種設定です。

設定を自動的に検出する	プロキシサーバの設定や自動構成を自動的に検出するときは[検出する]を選択します。
自動構成スクリプトを使用する	自動構成スクリプトを使用する場合は、チェックを付けます。[詳細設定へ] をクリックすると、プロキシの設定が行えます。
ホームページ	起動したときに最初に表示されるページのURLを入力します。 [お気に入りから選択] リストからページを選択することもできます。
検索ページ	ツールバーの[検索] をクリックしたときに表示されるページのURLを入力します。 [お気に入りから選択] リストからページを選択することもできます。
セキュリティ	インターネットでページ表示するときのセキュリティレベルを指定します。

EasyPlayerの設定

[アプリケーション] [EasyPlayer]

EasyPlayerでスライドショー再生する場合の初期値の設定です。

スライドショー再生間隔	次のスライドに切り替わるまでの間隔を秒単位で指定します。有効範囲：0～300秒
再生エフェクト	次のスライドに切り替わる時の特殊効果を選択します。
バッファ	ネットワークのバッファサイズを設定します。 ネットワークのバッファサイズとは、EasyPlayerがファイルまたはストリームの再生を始める前に格納する情報の量です。 バッファサイズは、1～60の範囲で指定してください。
接続速度	ネットワークの接続速度を選択します。

プロトコル	ストリームを受信するときに使用されるプロトコルを選択します。すべてのプロトコルを選択することを推奨します。ネットワークがファイアウォールを使用している場合など、特定のプロトコルの使用を希望しない特別な理由がある場合は、使用しないプロトコルのチェックをはずしてください。UDPの [ポート] では、特定のポートを指定できます。
プロキシの設定	各プロトコルで使用するプロキシサーバでの設定を行います。ネットワークがファイアウォールを使用していない場合は、プロキシの値を設定する必要はありません。各プロトコルをクリックすると、プロキシサーバでのプロトコルの動作を設定できます。
プロキシ設定 HTTP MMS RTSP	以下のどれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ プロキシの設定を自動検出する (推奨) 開いているポートを自動判別し、そのポートを使ってストリームを受信します。 ・ EasyBrowserのプロキシ設定を使う EasyBrowserと同じ構成を使ってネットワークにアクセスします。 ・ プロキシサーバを使わない EasyPlayerはプロキシサーバと通信しません。通常この場合は、インターネットからのストリームは受信されません。 ・ 次のプロキシサーバを使う 以下で指定するプロキシサーバとポートを使用してストリームを受信します。
アドレス	使用するプロキシサーバのIPアドレス▶を入力します。
ポート	使用するプロキシサーバのポート番号を入力します。
ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない	チェックを付けると、ローカルサーバから配信されるストリームを受信するときにEasyPlayerがプロキシサーバに接続されないようにできます。
次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない	ストリームを配信するローカルサーバのURLを入力します。

スケジュールにより自動的に投写する(タイマ設定)

[タイマ]

[新規スケジュール作成] をクリックしてタイマ設定をし、自動的に投写をすることができます。

スケジュールは10件まで登録することができます。

開始日時	日時、毎日、毎週のいずれかを選択して開始時刻を入力します。
動作時間	動作している時間を分単位で指定、[指定なし] にすると投写する映像が終わるまで動作します。
映像ソース	投写する映像のソースを指定します。
動作	投写するファイルやアドレスを指定します。
EasyMP.net	投写したいEasyMP.net内のファイルパスを入力します。 例) everyone\Easymp.jpg アプリケーションがEasyMP.netから起動します。
ネットワークコンピュータ	ネットワーク接続したコンピュータのファイルパスを入力します。 例) \\epson\share\Easymp.jpg そのファイルを開くことのできるアプリケーションがコンピュータから起動します。ログオンのためのユーザーIDとパスワードも入力します。
URL	EasyBrowserで表示したいホームページのURLを入力します。 例) http://www.epson.com
再生設定	[動作] の [EasyMP.net] で指定したフォルダ内のファイルをスライドショー再生するときの設定を行います。
スライドショー再生間隔	次のスライドに切り替わるまでの間隔を秒単位で指定します。有効範囲：0～300秒
スライドショー再生エフェクト	次のスライドに切り替わる時の特殊効果を選択します。
繰り返し再生	繰り返し再生するときは[ON] を選択します。

コンピュータからの操作(ネットワーク経由)

ここでは、ネットワーク上のコンピュータの映像をプロジェクターから投写したり、ブラウザで設定変更できる機能 (EasyWeb) や、集中管理ツール (EMPMonitor) について説明します。

コンピュータの映像をプロジェクターで投写する (Network Screen) 36

• 簡単接続モード	36
操作を始める前に	37
• コンピュータの制限事項	37
プロジェクターに接続する	39
• 接続したいプロジェクターが表示されないとき	42
グループを作成して接続する	45
• グループの作成	45
• グループを使用して接続	48
グループのエクスポートとインポート	48
• グループのエクスポート	49
• グループのインポート	50
ツールバーの使い方	51
• ツールバー	51
• Eズーム	53
• 基本設定	54
ネットワーク接続を切断する	55
• コンピュータ側から切断する	55
• プロジェクター側から切断する	55

コンピュータでプロジェクターの設定をする (EasyWeb) 56

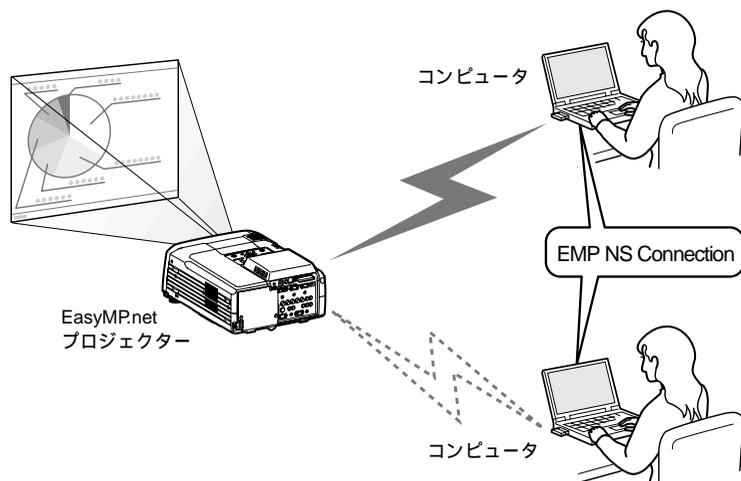
操作を始める前に	57
• 動作環境	57
EasyWebを表示する	57
EasyConfiguration	59
EasyMenu	60
EasyRemote	61

プロジェクターの状況確認と制御を集中管理する (EMP Monitor) 62

• コンピュータの準備	62
監視するプロジェクターを登録する	63
• 自動検出を使った登録	64
• マニュアル登録したプロジェクターリストの編集	65
• IPアドレスを使った登録 (マニュアル登録)	65
• プロジェクターリストからの削除	66
EMP Monitorメイン画面	66
• ボタンの働き	66
• 詳細情報の表示	68
• プロジェクターリストの見方	67

コンピュータの映像をプロジェクターで投写する(Network Screen)

ネットワーク接続されたプロジェクターとコンピュータを使うと、簡単な設定をするだけでコンピュータの映像をプロジェクターで投写することができます。



システム構成例



EasyMP.netのRemote DesktopとNetwork Screenを併用することはできません。

簡単接続モード

Network Screenでは、「簡単接続モード」を使って、コンピュータからプロジェクターに簡単に接続することができます。

簡単接続モードは、無線LANのアドホックモード(アクセスポイントを使わず、直接通信する方法)を使って、複雑なネットワークの設定を行わずに、簡単にプロジェクターとパソコンを接続する方法です。

簡単接続モードを使うには、EasyConfigurationでプロジェクターの設定を変更します。

☛ p.37 「操作を始める前に」



簡単接続モードの使用中は、有線LANは使用できなくなります。

操作を始める前に

Network Screenを起動する前に、次の点をご確認ください。

- 使用するコンピュータにEMP NS Connectionをインストールしておきます。● 『EasyMP.netセットアップガイド』の「EasyMP.net Softwareについて」
- コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続できる状態にしておきます。
- EasyConfigurationで以下の設定をしておきます。
 - ・Network Screenを[使用する]に設定(● p.30)
 - ・プロジェクターキーワードを[使用する]に設定(● p.30)
- 簡単接続モードで接続する場合は、EasyConfigurationで以下の設定をしておきます。
 - ・無線LANの設定で、[アドホックモード]を[有効]に設定(● p.28)
 - ・Network Screen設定で、[簡単接続]を[有効]に設定(● p.30)

コンピュータの制限事項

EMP NS Connectionで接続しNetwork Screen機能でコンピュータの映像を投写するときは、以下のような制限事項があります。

対応解像度

投写可能なコンピュータの画面解像度は、以下のものになります。

UXGA▶を超える解像度のコンピュータとは接続することができません。

- VGA▶(640×480)
- SVGA▶(800×600)
- XGA▶(1024×768)
- Quad-VGA(1280×960)
- SXGA▶(1280×1024)
- SXGA+(1400×1050)
- UXGA(1600×1200)

コンピュータの解像度がXGAを超えていると、投写時に以下のメッセージが表示されます。

パソコンの画面の領域がXGA(1024x768pixel)より大きい場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか？

[はい]をクリックすると接続しますが、表示速度は遅くなります。

1280×600などの縦横比が特殊な画面のコンピュータの場合は、対応している解像度のうちから横方向の画素数が一致する解像度で投写されます。このとき、縦方向の余白部分は黒く投写されます。

表示色

投写可能なコンピュータの画面の色数は以下のとおりです。

- 8ビットカラー (256色)
- 16ビットカラー
- 24ビットカラー
- 32ビットカラー

24ビットカラー以上の設定にしている場合は、投写時に以下のメッセージが表示されます。

パソコンの画面の色が24ビット以上の場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。NSConnectionはパフォーマンスの低下を軽減するために16ビットに変換して接続します。接続処理を続行しますか？

[はい] をクリックすると接続しますが、表示速度は遅くなります。

接続台数

1台のコンピュータに、最大4台までのプロジェクターを接続して同時に映像を投写できます。

複数のコンピュータから1台のプロジェクターに同時に接続することはできません。

その他の制限

- 音声は伝送されません。
- 動画を再生する場合、コンピュータ上で再生した場合と比べてスムーズに再生されません。
- DirectXの一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示できない場合があります。
- MS-DOSプロンプトの全画面表示は投写できません。

プロジェクターに接続する

EMP NS ConnectionをWindowsから起動してプロジェクターに接続します。



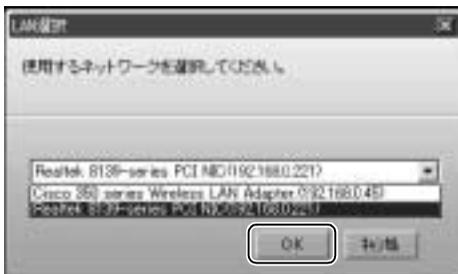
ポイント

EMP NS Connectionを起動する前に、コンピュータに無線LANカードをセットしておいてください。EMP NS Connection起動後に無線LANカードをセットすると、EMP NS Connectionで無線LANカードが認識されません。

操作

1 [スタート] [プログラム] (または [すべてのプログラム]) [EPSON Projector] [EMP NS Connection] の順にクリックして、EMP NS Connectionを起動します。

EMP NS Connectionをインストール後、初めて起動したときには、LAN選択画面が表示されます。接続に使用するネットワークインターフェースを選択して[OK]をクリックしてください。



ポイント

- プロジェクター側のネットワーク設定で、**IPアドレス** を設定していない場合は、ネットワークアダプタの情報取得に失敗したという内容のメッセージが表示されることがあります。これはDHCPサーバと接続できないときに、IPアドレスを決定するまでに時間がかかるためです。約60秒間たってから、再び手順1から操作をやり直してください。
- このLAN選択画面で、使用するネットワークアダプタを選択すると、以降EMP NS Connectionを起動してもこの画面は表示されません。使用するネットワークアダプタを変更したい場合は、接続プロジェクター選択画面(手順2の画面)で[拡張機能]をクリックします。表示された拡張機能画面で[LAN切替]をクリックすると、LAN選択画面が表示されます。

- 2 接続するプロジェクターにチェックを付けます。
 プロジェクター名はEasyConfigurationで設定した名前(● p.27)が表示されます。選択できる接続先がない場合は、「接続したいプロジェクターが表示されないとき」(● p.42)を行ってください。



このアイコンは、プロジェクターの状態を示しています。
 グレー：未接続
 オレンジ：他のコンピュータと接続中
 黄色： EasyMP.netが非アクティブになっている

クリックします。

暗号化通信を行うときや、IP指定接続モードを有効にしたいときにクリックします。

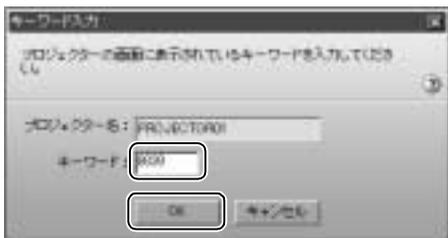


ポイント

- 他のコンピュータと接続中のプロジェクターを選択した場合は、先に接続していたコンピュータを自動的に切断して、後から接続操作したコンピュータの映像を投写します。
- 複数のプロジェクターを選択すると、1台のコンピュータの映像を複数のプロジェクターで投写できます。1台のコンピュータの映像を同時に投写できるプロジェクターの台数は、最大4台までです。
- 接続後に、接続するプロジェクターを追加することはできません。

- 3 データの暗号化をするときは、[機能拡張] をクリックします。
 データの暗号化をしないときは、手順3~4を行わずに手順5へ進んでください。

- 4 [暗号化通信を行う] にチェックを付け、[OK] をクリックします。
- 5 [接続] をクリックします。
- 6 [キーワード] にプロジェクターの接続待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを入力し、[OK] をクリックします。
EasyConfiguration(● p.30)でプロジェクターキーワードを[使用する]に設定していない場合は、キーワード入力画面は表示されません。



コンピュータとプロジェクターが接続され、コンピュータの画面がプロジェクターに投写されます。



ポイント

プロジェクターの電源を切って、次回電源を入れたときや、無線LANカードを取り出して再度セットするたびに、プロジェクターキーワードが変わります。コンピュータと接続するときには、必ず接続待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認してから入力してください。前回のキーワードを入力しても接続できません。Network Screenの使用中は、リモコンの○ボタンは使用できません。プレゼンターとの交代など、引き続き別のコンピュータから接続する場合は、接続したいコンピュータでEMP NS Connectionを起動して接続操作してください。接続中のコンピュータとの接続が自動的に切断され、後から接続操作を行ったコンピュータと接続します。

コンピュータからプロジェクターを制御するには、リモコンまたは表示されるツールバーを使って行います。● p.51

接続したいプロジェクターが表示されないとき

接続したいプロジェクターがEMP NS Connectionのプロジェクター選択画面に表示されない場合は、「IP指定接続モード」を使い、IPアドレス▶を指定して接続します。

操作

- 1 [スタート] [プログラム] (または [すべてのプログラム]) [EPSON Projector] [EMP NS Connection] の順にクリックして、EMP NS Connectionを起動します。
- 2 [拡張機能] をクリックします。



- 3 [IP指定接続を使用する] にチェックを付けて [OK] をクリックします。



- 4 [IP指定接続] をクリックします。

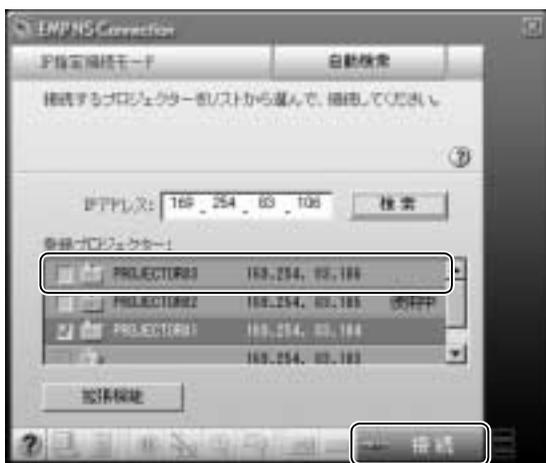


- 5 [IPアドレス] に接続したいプロジェクターの IPアドレス を入力し、[検索] をクリックします。



[登録プロジェクター] に、指定したIPアドレスのプロジェクター名が表示されます。さらにプロジェクターを検索したい場合は、手順5を繰り返します。

- 6 接続したいプロジェクターを選択し、[接続] をクリックします。





ポイント

EMS NS Connectionを終了して次回起動したときは、[登録プロジェクター]に追加したプロジェクターは表示されません。次回以降も同じプロジェクターを表示したい場合は、グループを作成して目的のプロジェクターを登録してください。● p.45

グループを作成して接続する

EMS NS Connection起動時に毎回プロジェクターを表示させるには、グループを作成してプロジェクターを登録しておくくと便利です。

EMS NS Connectionを次回起動したときには、グループに登録していなかったプロジェクターは表示されなくなります。

EMS NS Connectionでは、1グループにつき最大16台までのプロジェクターを登録できます。

ここでは、グループの作成方法と、グループを使用した接続方法を説明します。

グループの作成

操作

- 1 [スタート] [プログラム](または[すべてのプログラム]) [EPSON Projector] [EMP NS Connection]の順にクリックして、EMP NS Connectionを起動します。
- 2 [拡張機能]をクリックします。

- 3 [IP 指定接続を使用する]と[グループ一覧を使用する]にチェックを付け、[詳細設定]をクリックします。



- 4 グループを新しく追加するには、[新規追加]をクリックします。



既存のグループを編集するには、[接続グループ]でグループ名を選択し、手順6に進んでください。

- 5 [接続グループ] にグループ名を入力します。
- 6 [IPアドレス] に登録したいプロジェクトの IPアドレス を入力し、[追加] をクリックします。



指定したIPアドレスのプロジェクト名が、登録プロジェクトの一覧に追加されます。さらにプロジェクトを登録したい場合は、手順6を繰り返します。

1つのグループに対して、最大16台までのプロジェクトを登録できます。追加したプロジェクトを一覧から削除するには、削除したいプロジェクトを選択して[削除] をクリックします。

- 7 [保存] をクリックします。
確認のメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
グループが保存されます。
既存のグループを編集して保存する場合や、保存するグループと同じ名前がすでに登録されていた場合は、上書き保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、グループが上書き保存されます。別名で保存したい場合は、[いいえ] をクリックして、[接続グループ] にグループ名を入力し直します。
グループを削除するには、[接続グループ] で削除したいグループを選択して[削除] をクリックします。
- 8 [閉じる] をクリックします。
拡張機能の画面に戻ります。

グループを使用して接続

操作

- 1 [スタート] [プログラム] (または [すべてのプログラム]) [EPSON Projector] [EMP NS Connection] の順にクリックして、EMP NS Connection を起動します。
- 2 [拡張機能] をクリックします。
- 3 [IP 指定接続を使用する] と [グループ一覧を使用する] にチェックを付けます。
- 4 [接続グループ] から接続したいプロジェクターを選択し、[OK] をクリックします。



- 5 接続したいプロジェクターを選択し、[接続] をクリックします。

グループのエクスポートとインポート

グループの情報をファイルに保存(エクスポート)して、複数のコンピュータで使うことができます。エクスポートしたグループ情報のファイルを使えば、コンピュータが変わるごとにプロジェクターを検索しなくても、簡単にプロジェクターに接続できます。

グループ情報を他のコンピュータで使うには、エクスポートしたグループ情報をEMP NS Connectionに読み込みます(インポート)。

ここでは、グループの情報をエクスポート・インポートする方法を説明します。

グループのエクスポート



ポイント

- グループをエクスポートする前に、最低1つはグループを作成して保存しておいてください。● p.45
- グループ作成中または編集中は、エクスポートできません。

操作

- 1 [スタート] [プログラム] (または [すべてのプログラム]) [EPSON Projector] [EMP NS Connection] の順にクリックして、EMP NS Connection を起動します。
- 2 [拡張機能] をクリックします。
- 3 [IP 指定接続を使用する] と [グループ一覧を使用する] にチェックを付け、[詳細設定] をクリックします。
- 4 [接続グループ] からエクスポートしたいグループを選択し、[エクスポート] をクリックします。



- 5 エクスポート先のフォルダを選択してファイル名(拡張子は「.ini」)を入力し、[保存] をクリックします。
指定したファイル名でグループ情報がエクスポートされます。

グループのインポート



グループ作成中または編集中は、インポートできません。

ポイント

操作

- 1 [スタート] [プログラム](または[すべてのプログラム]) [EPSON Projector] [EMP NS Connection]の順にクリックして、EMP NS Connection を起動します。
- 2 [拡張機能]をクリックします。
- 3 [IP 指定接続を使用する]と[グループ一覧を使用する]にチェックを付け、[詳細設定]をクリックします。
- 4 [インポート]をクリックします。



- 5 インポートするファイルを選択し、[開く]をクリックします。
[接続グループ]のリストに、インポートしたグループ名が表示されます。

インポートしたグループと同じ名前がすでに[接続グループ]のリストに登録されていた場合は、上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、インポートしたグループが上書き登録されます。[いいえ]をクリックすると、グループはインポートされません。

ツールバーの使い方

通常、プロジェクターのコントロールはリモコンを使って行いますが、EMS NS Connectionを使うと、接続したコンピュータのデスクトップに表示されたツールバーを使ってプロジェクターのコントロールを行うこともできます。

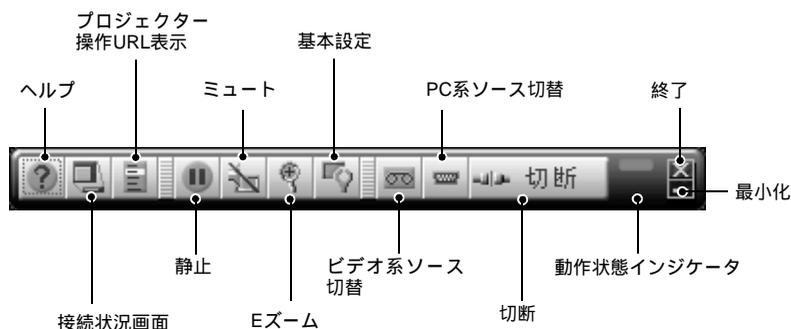


ポイント

リモコンでプロジェクターの操作や設定を行う

● 『取扱説明書』の「映り具合を選ぶ(カラーモード選択)」、「応用編」

ツールバー



それぞれのボタンでできる操作は以下のとおりです。

ボタン	名称	操作内容
	ヘルプ	EMP NS Connectionのヘルプが表示されます。
	接続状況画面	接続状況画面の表示/非表示を切り替えます。接続状況画面では、現在接続しているプロジェクター名のアイコンが緑で表示されます。接続切り替えや、追加などの操作はできません。
	プロジェクト操作URL表示	EasyWebを表示します。● p.56
	静止	映像を一時停止します。動画の場合は、停止している間も映像は進み、停止したときの場面からは再開できません。プロジェクター本体の静止機能と同じです。 ● 『取扱説明書』「静止機能」

ボタン	名称	操作内容
	ミュート	映像を一時的に消します。例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を表示したくない場合に使用します。ただし、動画の場合は消している間も映像は進み、消したときの場面からは再開できません。プロジェクター本体のAVミュート機能と同じ機能です。 ●『取扱説明書』「AVミュート機能」
	Eズーム	投写サイズを変えずに、見たい部分を拡大します。設定画面を表示して位置や倍率を設定できます。●p.53 プロジェクター本体のEズーム機能と同じ機能です。 ●『取扱説明書』「Eズーム機能」
	基本設定	設定画面を表示して、明るさ、台形補正、コントラスト、カラーモードを設定できます。●p.54 明るさ、コントラスト、カラーモードは、プロジェクター本体の環境設定メニューの「映像」メニューで設定する項目と同じです。●『取扱説明書』「機能一覧」の「映像メニュー」 台形補正は、本体操作パネルの[台形補正]ボタンと同じ機能です。●『取扱説明書』「投写画面のゆがみを補正しよう(台形補正)」
	ビデオ系 ソース切替	プロジェクターで投写する入力信号を、プロジェクター背面の[S-ビデオ▶]端子、[ビデオ]端子、[BNC]端子からの映像に切り替えます。本体操作パネルの[ビデオ/BNC]ボタンと同じ機能です。●『取扱説明書』「電源ON、投写開始」
	PC系ソース 切替	プロジェクターで投写する入力信号を、プロジェクター背面の[DVI▶▶] [コンピュータ1] [コンピュータ2]端子からの映像や、EasyMP.netを介して接続しているコンピュータの映像に切り替えます。本体操作パネルの[コンピュータ/DVI]ボタンと同じ機能です。●『取扱説明書』「電源ON、投写開始」
	切断	現在通信中のプロジェクターとのネットワーク接続を切断します。
	動作状態インジケータ	コンピュータとプロジェクターがネットワーク接続しているときに、上、中、下の各インジケータが交互に点滅します。正しく接続できていないときは消灯します。

ボタン	名称	操作内容
	終了	現在通信中のプロジェクターとのネットワーク接続を切断し、EMP NS Connectionを終了します。
	最小化	ツールバーが最小化され、Windowsのタスクバーにボタンとして表示されます。

Eズーム

[Eズーム]をクリックすると、下の設定画面が表示されてズーム倍率や位置などの調整ができます。



オプション名	操作内容
Eズーム	Eズームの倍率を調整します。[+]で拡大、[-]で拡大した結果を縮小します。リモコンの[⊕][⊖]ボタンと同じ機能です。
位置	ターゲットスコープを移動して拡大/縮小表示する部分を指定します。各ボタンをクリックすると以下の方向に移動します。  : 上方向  : 左方向  : 下方向  : 右方向  『取扱説明書』「Eズーム機能」
ズームキャンセル	Eズームを解除して元の表示に戻ります。
操作対象プロジェクター	操作対象のプロジェクター名を表示します。複数のプロジェクターに接続している場合は、Eズームの操作をするプロジェクターを選択します。
閉じる	Eズーム設定画面を閉じます。

基本設定

[基本設定] をクリックすると、下の設定画面が表示され、明るさ、台形補正、コントラスト、カラーモードの調整ができます。



オプション名	操作内容
明るさ	投写映像の明るさを調整します。 : 明るくなる : 暗くなる
台形補正	プロジェクターを上下に傾けて設置したとき、縦方向の台形にゆがんでしまった投写映像を補正します。 : 上辺が狭くなる : 底辺が狭くなる
コントラスト	画面の明暗の差を調整します。 : 明暗の差を大きくする : 明暗の差を小さくする
カラーモード	映像の特徴に合わせた次の5種類のカラーモードがあらかじめ記録されています。投写映像に応じてカラーモードを選択するだけで簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。[カラーモード] をクリックするたびに、以下のように設定が切り替わります。
操作対象プロジェクター	操作対象のプロジェクター名を表示します。複数のプロジェクターに接続している場合は、基本設定を行うプロジェクターを選択します。
閉じる	基本設定画面を閉じます。



ポイント

- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。
● 『取扱説明書』の「機能一覧」の「映像メニュー」
- 台形補正はプロジェクター本体の環境設定メニューでも調整できます。
● 『取扱説明書』の「機能一覧」の「設定メニュー」
- 台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、台形補正量の限界に達したことを示しています。プロジェクターを制限以上に傾けて設置していないか確認してください。
● 『取扱説明書』「投写画像のゆがみを補正しよう(台形補正)」

ネットワーク接続を切断する

コンピュータとプロジェクター間のネットワーク接続を切断するには、コンピュータ側から切断する方法とプロジェクター側から切断する方法があります。

コンピュータ側から切断する

EMP NS Connectionのツールバーで、[切断] または [終了] をクリックします。



- [切断] をクリックすると、ネットワーク接続の切断のみを行います。
- [終了] をクリックすると、ネットワーク接続を切断してEMP NS Connectionを終了します。



ポイント

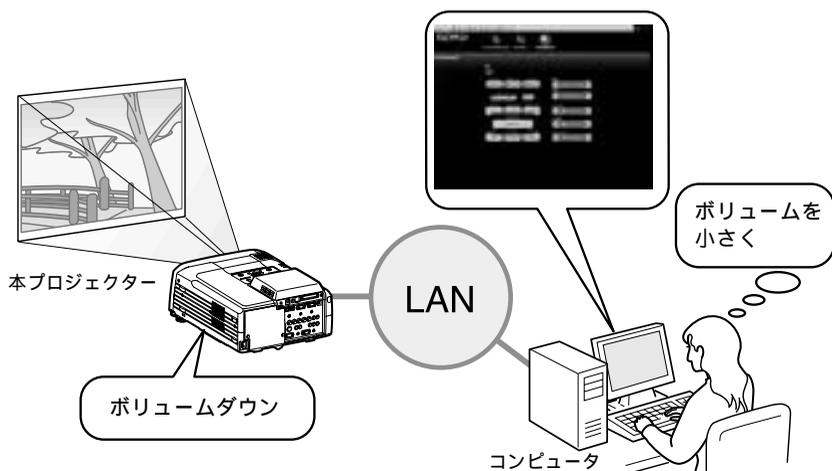
複数台のプロジェクターと接続しているコンピュータで切断の操作をすると、すべてのプロジェクターとの接続が切断されます。

プロジェクター側から切断する

- 1 リモコンの[ESC] ボタンを押します。
- 2 [終了する] を選択して、リモコンの[Enter] ボタンを押します。
切断するコンピュータの画面に「接続中のプロジェクターはプロジェクター側から切断されました。」と表示されます。

コンピュータでプロジェクターの設定をする(EasyWeb)

ネットワーク上のプロジェクターの操作や設定を、Webブラウザを使って行うことができます。



システム構成例

Webブラウザで設定変更ページにアクセスできるのは、管理者かアクセス権のあるユーザーのみです。ただし、EasyConfigurationは管理者(もしくは管理者に設定されたユーザー)以外にアクセスすることはできません。ユーザーにアクセス権を与えるには、EasyConfigurationの[システム管理][アクセス管理]で行います。● p.25



ポイント

プロジェクター本体の環境設定メニューで[高度な設定1][待機モード]を[ネットワーク有効]に設定しておく、プロジェクターがスタンバイ状態(インジケータがオレンジ色に点灯している状態)でも、EasyWebによる操作や設定を行えます。

操作を始める前に

EasyWebを使う前に、次の点をご確認ください。

- コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続できる状態にしておきます。

動作環境

対応ブラウザは以下のとおりです。

Internet Explorer 5.01以降

画面解像度は1024×768以上、表示色は256色以上に設定してください。

EasyWebを表示する

操作

- 1 コンピュータでWebブラウザを起動します。
- 2 Web ブラウザに目的のプロジェクターの **IPアドレス**▶を入力して接続します。



ポイント

EMS NS Connectionをインストールしてある場合は、ツールバーの[プロジェクター操作URL表示]をクリックしてプロジェクターに接続することもできます。

プロジェクター
操作URL表示



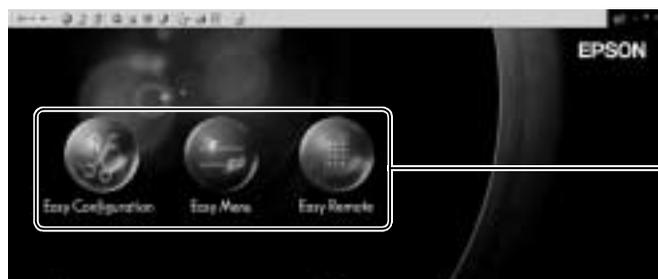
- 3 管理者ユーザーのIDとパスワードを入力して [LOGON] をクリックします。



クリックして
ログオンしま
す。

EasyConfigurationで設定している管理者IDとパスワードを入力します。☛ p.24

- 4 [EasyConfiguration] [EasyMenu] [EasyRemote] のいずれかをクリックして操作や設定を行います。



クリックして
選択します。

EasyConfiguration

EasyConfigurationでは、EasyMP.netのEasyConfigurationと同様のことがWebブラウザで行えます。

設定項目については、p.24以降の「EasyMP.netの各種設定を行う(EasyConfiguration)」を参照してください。



EasyConfigurationは、管理者(または管理者に設定されたユーザー)のみがアクセスできます。

ユーザーを管理者に設定するには、EasyConfigurationの[システム管理][ユーザー管理]で行います。☛ p.24

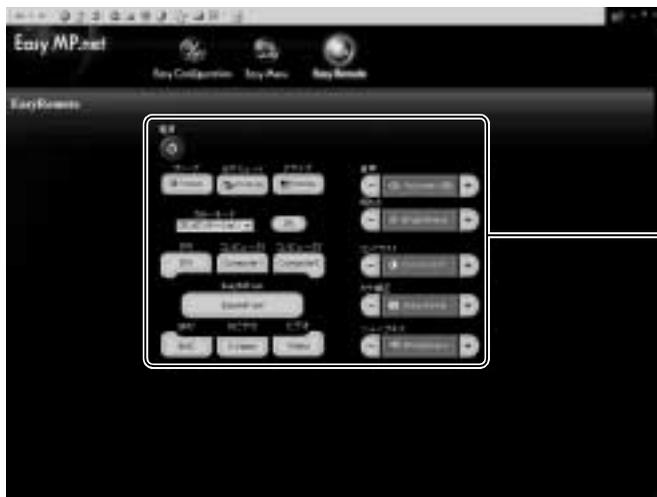
EasyMenu

EasyMenuでは、プロジェクター本体の環境設定メニューと同様のことがWebブラウザで行えます。設定項目については、『取扱説明書』「環境設定メニューの機能と操作」を参照してください。



EasyRemote

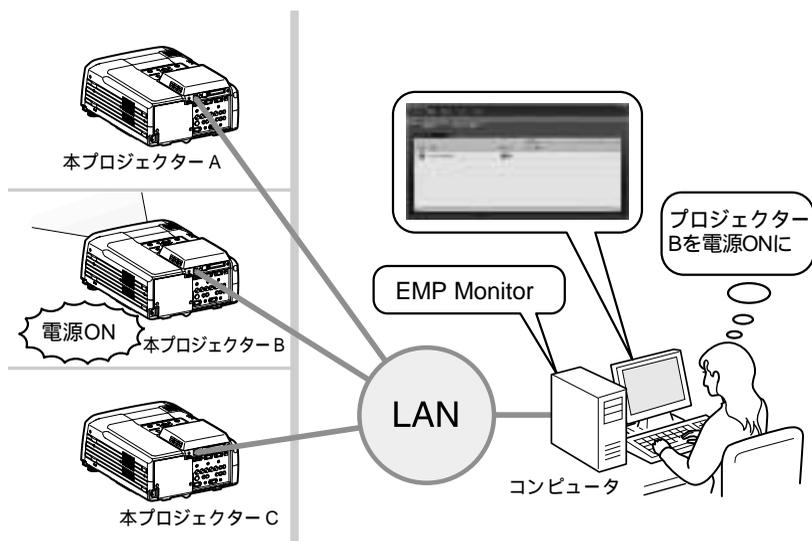
EasyRemoteでは、プロジェクターの投写調整などをコンピュータから操作することができます。設定項目については、『取扱説明書』を参照してください。



操作したいボタンをクリックします。

プロジェクターの状況確認と制御を集中管理する(EMP Monitor)

EMP Monitorを使うと、ネットワーク上の複数のプロジェクターの状況確認をしたり、電源のオン/オフや映像ソースの切り替えなどを一括して操作できます。最大64台のプロジェクターを一括して監視・制御できます。



システム構成例



ポイント

プロジェクター本体の環境設定メニューで[高度な設定1] [待機モード]を[ネットワーク有効]に設定しておく、プロジェクターがスタンバイ状態(インジケータがオレンジ色に点灯している状態)でも、監視できます。

コンピュータの準備

EMP Monitorを起動する前に、次の点をご確認ください。

- 使用するコンピュータにEMP Monitorをインストールしておきます。
☛ 『EasyMP.netセットアップガイド』の「EasyMP.net Softwareについて」
- コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続できる状態にしておきます。
- Windows2000/NT4.0/XPを使っている場合は、管理者ユーザー(Admin)だけが起動できます。

監視するプロジェクターを登録する

EMP Monitorをインストール後、初めて起動したときや、プロジェクターを追加登録したいときに操作します。一度登録すれば、以降はEMP Monitorを起動するたびに、登録されているプロジェクターの状態が自動的に表示されます。

操作

- 1 [スタート] [プログラム] (または [すべてのプログラム]) [EPSON Projector] [EMP Monitor]の順にクリックして、EMP Monitorを起動します。
- 2 [プロジェクター登録]をクリックします。



クリックして監視するプロジェクターを追加します。

[プロジェクター登録]ダイアログボックスが表示されます。



「自動検出を使った登録」◀ p.64、または「IPアドレスを使った登録」◀ p.65
を操作して、プロジェクターを登録します。

自動検出を使った登録

操作

- 1 [プロジェクター登録] ダイアログボックスで、[自動検出] をクリックします。
- 2 登録するプロジェクターを選択して[追加] をクリックします。
複数のプロジェクターを同時に選択できます。
プロジェクターがリストに表示されないときは ● p.65 「IPアドレスを使った登録 (マニュアル登録)」を行ってください。



ポイント

- 自動検出を使って登録したプロジェクターは、EMP Monitorを表示するたびにプロジェクター名にしたがって、再検出され、対応したIPアドレス▶が表示されます。
- パスワード入力画面が表示された場合は、プロジェクターの管理者ユーザー (Admin) のパスワードを入力して [OK] をクリックします。
複数のプロジェクターを選択していた場合は、順番にパスワード入力画面が表示されます。

IPアドレスを使った登録(マニュアル登録)

操作

- 1 [プロジェクト登録]ダイアログボックスで、[マニュアル登録]をクリックします。
- 2 [IPアドレス]に登録したいプロジェクトのIPアドレス▶を入力し、[確認]をクリックします。
ネットワーク上で指定したIPアドレスのプロジェクトが見つかったら、プロジェクト名が表示されますので、目的のプロジェクトであることを確認してください。違っていた場合は、IPアドレスを入力し直します。



- 3 [追加]をクリックします。
- 4 プロジェクトの管理者ユーザー(Admin)のパスワードを入力して[OK]をクリックします。

マニュアル登録したプロジェクトリストの編集

マニュアル登録をしたプロジェクトのプロジェクト名またはIPアドレス▶が変更になった場合は、以下の操作をします。

操作

- 1 [プロジェクト登録]ダイアログボックスで、編集したいプロジェクトを選択し、[編集]をクリックします。
- 2 プロジェクト名が変更になった場合は、そのまま[確認]をクリックします。IPアドレスが変更になった場合は、新しいIPアドレスを入力して[確認]をクリックします。
正しいプロジェクト名になっていることを確認してください。
- 3 [更新]をクリックします。

プロジェクターリストからの削除

[プロジェクター登録] ダイアログボックスで、リストから削除するプロジェクターを選択し、[削除] をクリックします。

複数のプロジェクターを同時に選択できます。

EMP Monitorメイン画面

メイン画面では、各プロジェクターの状態が表示されます。プロジェクターに対して操作を行うには、プロジェクターリストからプロジェクターを選択し、ボタンをクリックします。



終了するには、右上の  をクリックします。

ボタンの働き

プロジェクターリストから選択したプロジェクターの電源をオン/オフしたり、映像ソースを切り替えたりできます。[ツール] メニューからも同様の操作をすることができます。

ボタン	説明
[全て選択]	リストのプロジェクターをすべて選択します。
[詳細表示]	選択したプロジェクターの詳細情報を表示します。  p.68
	プロジェクターの電源をオンにします。
	プロジェクターの電源をオフにします。
	[コンピュータ1] 端子からの映像に切り替えます。
	[コンピュータ2] 端子からの映像に切り替えます。

ボタン	説明
	[BNC] 端子からの映像に切り替えます。
	[S-ビデオ▶] 端子からの映像に切り替えます。
	[ビデオ] 端子の映像に切り替えます。
	[DVI▶▶] 端子からの映像に切り替えます。
	EasyMP.netに切り替えます。

プロジェクトリストの見方

プロジェクトリストには、以下ようなプロジェクトの状態が表示されています。

状態：プロジェクトの状態を次のようにアイコンで示しています。	
	電源ON異常なし
	電源ON異常あり
	電源OFF異常なし
	電源OFF異常あり
	ネットワークエラー（ネットワーク接続されていない、電源ケーブルが接続されていないなど）
名前：プロジェクト名が表示されています。	
映像ソース：選択している入力端子が表示されています。	
	コンピュータ1
	コンピュータ2
	BNC
	S-ビデオ▶
	ビデオ
	DVI▶▶
	EasyMP.net

エラー情報：プロジェクターに異常が生じた場合、その状態を以下のアイコンで示します。

	ランプ交換勧告	新しいランプと交換します。● 『取扱説明書』の「消耗品の交換」の「ランプの交換方法」
     	高速冷却中 ランプ異常 内部高温異常 内部異常 ファン異常 温度センサ異常	『取扱説明書』の「故障かなと思ったら」を参照して対処してください。



ポイント

EMP Monitor が起動していなくても、「メール通知機能」を使うとエラーの発生をタイムリーに知ることができます。

● p.92 「異常通知のメールが送られてきたら」

詳細情報の表示

操作

- 1 EMP Monitorを起動し、状態を表示したいプロジェクターを選択します。
- 2 [詳細表示] をクリックします。



クリックして詳細表示をします。

[詳細情報] ダイアログボックスに詳細な状態が表示されます。



困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

故障かなと思ったら 72

インジケータを見てもわからないとき	72
• ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御に関するトラブル	72
・ プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない	72
・ EMP Monitor でプロジェクターを制御・監視できない	73
設定した内容が保存されないとき	73

無線LANの接続ができなかったら 74

無線LANカードが正しくセットされていますか	74
無線LANの設定は正しいですか	74
• アクセスポイントを使った接続の場合	74
• アドホックモードの場合	75

EMP NS Connectionでプロジェクターが見つからなかったら 76

ネットワークの設定は正しいですか	76
• ネットワークの設定は正しいのに、プロジェクターが自動検出されない場合	76
• 無線LANの設定は正しいのに、無線LANで接続できない場合	76
NetworkScreenの制限事項	76

故障かなと思ったら

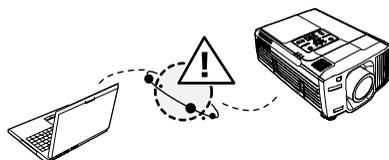
故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧になり、本プロジェクターの状態をご確認ください。●『取扱説明書』の「インジケータの見方」インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわからないとき」を参照してください。

インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御に関するトラブル

- プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない ● p.72
- EMP Monitorでプロジェクターを制御・監視できない ● p.73



プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを正しく接続します。 ●『取扱説明書』の「ネットワークケーブルの接続」
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	「ネットワーク」を設定してください。 ●『セットアップガイド』の「ネットワーク接続の設定」
送信先のメールアドレスは正しく設定されていますか？	テストメールを送って、メールが届くか確認してください。 ● p.29
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態の場合にメール通知機能を使うときは、プロジェクター本体の環境設定メニューで[高度な設定1][待機モード]を[ネットワーク有効]に設定してください。 ●『取扱説明書』の「環境設定メニューの機能と操作」

確認	対処法
致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になっていませんか。	瞬時に起動停止するとメール送信できません。本機が再起動しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。●裏表紙

EMP Monitor でプロジェクターを制御・監視できない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを正しく接続します。 ●『取扱説明書』の「ネットワークケーブルの接続」
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	「ネットワーク」を設定してください。 ●『セットアップガイド』の「ネットワーク接続の設定」
コンピュータにEMP Monitorの専用アプリケーションソフトが正しくインストールされていますか？	専用アプリケーションソフトが起動しない場合など、正しくインストールされていないと機能が働きません。アンインストールしてから、再度インストールしてください。●『セットアップガイド』の「EasyMP.net Softwareについて」
制御・監視したいすべてのプロジェクターがプロジェクターリストに登録されていますか？	プロジェクターリストに登録してください。 ●p.63
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態の場合にEMP Monitorを使うときは、プロジェクター本体の環境設定メニューで[高度な設定!] 「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定してください。 ●『取扱説明書』の「環境設定メニューの機能と操作」

設定した内容が保存されないとき

設定した内容などが、保存されない(初期値に戻ってしまう)場合は、本体に内蔵されている電池が消耗していることが考えられます。
お客様ご自身による交換は行えません。
エプソンサービスコールセンターにご相談ください。

無線LANの接続ができなかったら

無線LANを使ってプロジェクターからコンピュータに接続しようとしたときに、接続したいコンピュータが表示されなかったり、または、コンピュータから無線LANでプロジェクターに接続しようとしたときに、接続したいプロジェクターが表示されない、といった問題が起きた場合、無線LANの接続に失敗している可能性があります。その場合は、以下の内容をご確認ください。

無線LANカードが正しくセットされていますか

- カードスロットに無線LANカードがセットされていますか？
プロジェクターのカードスロットに無線LANカードをセットし、タスクマネージャの[無線LAN]が緑色に点灯することを確認してください。



無線LANカードをセットしても[無線LAN]が緑色に点灯しない場合は、無線LANカードをいったんカードスロットから抜いて、セットし直してください。

- 無線LANカードのアクセ斯拉ンプが黄色に点灯していますか？
アクセ斯拉ンプが消えている場合は、無線LANカードをいったんカードスロットから抜いて、セットし直してください。

無線LANの設定は正しいですか

タスクマネージャの[無線LAN]をクリックし、無線LANの状態を確認してください。

無線LANが正しく設定されていなかった場合は、EasyConfigurationで設定し直してください。

アクセスポイントを使った接続の場合

- プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されていますか？
接続するネットワークでDHCPを使用しない場合は、上記の各設定を合わせてください。また、接続するネットワークでDHCPが利用できる場合には、タスクマネージャの[無線LAN]をクリックして、正常にIPアドレスを取得できているかどうか確認してください。

- アクセスポイントで定義されたESSIDおよびWEPキーをプロジェクターに設定していますか？
アクセスポイントで定義された ESSID と WEP キーをプロジェクターに設定してください。
- アクセスポイント側で MAC アドレス制限、ポート制限などの接続拒否機能を正しく設定していますか？
アクセスポイント側でプロジェクターを接続許可に設定してください。

アドホックモードの場合

- コンピュータとプロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されていますか？
接続するネットワークで DHCP を使用しない場合は、上記の各設定を合わせてください。また、接続するネットワークで DHCP が利用できる場合には、タスクマネージャの [無線 LAN] をクリックして、正常に IP アドレスを取得できているかどうか確認してください。
- コンピュータとプロジェクターで同じESSIDを設定していますか？
コンピュータとプロジェクターで同じ ESSID を設定してください。
- コンピュータとプロジェクターで同じWEPキーを設定していますか？
コンピュータとプロジェクターで同じ WEP キーを設定してください。

EMP NS Connectionでプロジェクターが見つからなかったら

コンピュータでEMP NS Connectionを起動して、プロジェクターに接続しようとしたとき、プロジェクターが表示されない場合は、以下の内容をご確認ください。

ネットワークの設定は正しいですか

プロジェクターおよびコンピュータの、ネットワーク(LANまたは無線LAN)が正しく設定されているかどうか確認してください。

ネットワークの設定は正しいのに、プロジェクターが自動検出されない場合

- コンピュータとプロジェクターのサブネットが異なっていませんか？
EMP NS Connection の[IP 指定接続を使用する]を選択し、IP 指定接続モードで接続してください。
- プロジェクターでNetworkScreenを使用する設定になっていますか？
EasyConfiguration の[アプリケーション] [NetworkScreen]で、NetworkScreen が[使用する]に設定されているか確認してください。

無線LANの設定は正しいのに、無線LANで接続できない場合

- EMP NS ConnectionのLAN選択画面で「無線LAN」を選択しましたか？
お使いのコンピュータで有線LANも使える場合、EMP NS Connectionで「有線LAN」を選択していると、無線LANは使用できません。
EMP NS Connection の[拡張機能] [LAN 切替]で無線LANを選択してください。

NetworkScreenの制限事項

- 古いタイプの無線LANカードの場合、アドホックモードで接続するとき、「チャンネル指定アドホック」しか使えないものもあります。逆に最近は、「ESSID指定アドホック」しか使えない無線LANカードが増えています。無線LANの通信設定ユーティリティに両方の設定がある場合は、通常はESSID指定アドホックをお使いください。
- ESSID指定アドホック設定の場合、同じESSIDに設定されているアクセスポイントが近くで動作しているとアドホック接続ができなくなります。アクセスポイントの電源を切るか、アクセスポイントとは異なるESSIDを設定してください。
- コンピュータによっては、メディアプレイヤーによる動画再生画面が表示されなかったり、スクリーンセーバのプレビューが正常に表示されないことがあります。

- アクセスポイントを使った接続でNetworkScreenを使用する場合は、簡単接続モード(アドホックモード)に比べて表示速度が低下します。
- WEP 暗号化有効の場合や、複数台接続を行ったときは、表示速度が低下します。
- 無線LANの通信速度が低速(1~2Mbps)の場合は、接続が切断しやすくなります(無線LANは、電波状態が悪いとき、低速で接続してしまうことがあります)。
- アクセスポイントを使った接続でDHCP[▶]有効に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバが見つからないと、ネットワークスクリーン接続待機画面に切り替わるのに時間がかかります。
- NetworkScreenで接続する際は、事前にPowerPointを終了し、NetworkScreen接続後に再度起動してください。PowerPointを起動したまま接続すると、スライドショーが動作しなくなることがあります。
- パーソナルファイヤーウォールが設定されている場合は、NetworkScreenが使用できないことがあります。
- Windows2000/XPへEMP NS Connectionをインストールしている途中で、「EPSON GDI Monitor Driver」のインストール確認画面が表示されます。必ず[はい] WindowsXPの場合[続行する])を選択してください。[はい](または[続行する])を選択しないとNetworkScreenが正常に動作しません。「EPSON GDI Monitor Driver」のインストール中に、画面が一瞬消えることがあります。問題ありません。そのままインストールを続けてください。

付 録

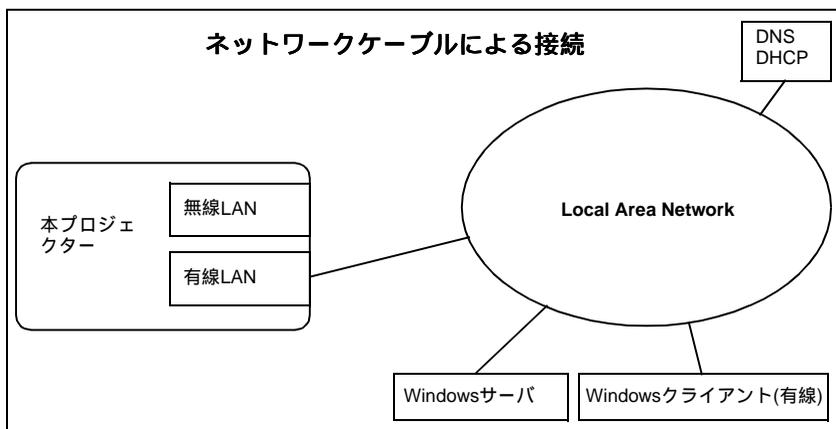
ネットワーク構成例では、環境設定とともに使い方のヒントを示しています。また、EasyMP.netへソフトウェアをインストールして使う方法について説明します。

ネットワーク接続構成例	80
構内ネットワーク環境がある場合	80
• 接続例(1): ネットワークケーブルでネットワークに接続	80
• 接続例(2): 無線LANアクセスポイント経由でネットワークに接続	81
• 接続例(3): 無線LANアクセスポイント経由の接続と、ネットワークケーブル接続の組み合わせ	83
• 接続例(4): 無線LANのアドホックモードを使った接続と、有線LAN接続の組み合わせ	85
構内ネットワーク環境がない場合	87
• 接続例(5): 無線LANのアドホックモードのみを使った接続	87
ソフトウェアの追加インストール	89
インストール方法	89
インストールしたプログラムを起動する	91
異常通知のメールが送られてきたら	92
索引	93

ネットワーク接続構成例

構内ネットワーク環境がある場合

接続例(1)：ネットワークケーブルでネットワークに接続



ネットワークケーブルのみ使った接続構成図

環境要件

- 学校やオフィスにネットワークケーブルを使ったネットワーク環境があり、プロジェクターを使用する教室や会議室からも、ネットワークケーブルを使ってネットワークに接続できる。
- プロジェクターを使用する教室や会議室に、現在無線LANのアクセスポイントがなく、今後も無線LANの利用は難しい。

こんな使い方ができます

- ネットワーク上のコンピュータにあるファイルを EasyFile で選択して投写します。
プロジェクターを使用する教室や会議室に、コンピュータを持ち込む必要がありません。
- LAN 上のコンピュータから、プロジェクターの状態監視や管理を行います。プロジェクターが複数ある場合も、LAN上のコンピュータから一元管理できます。プロジェクターが置かれている教室や会議室まで行く必要がありません。

留意点

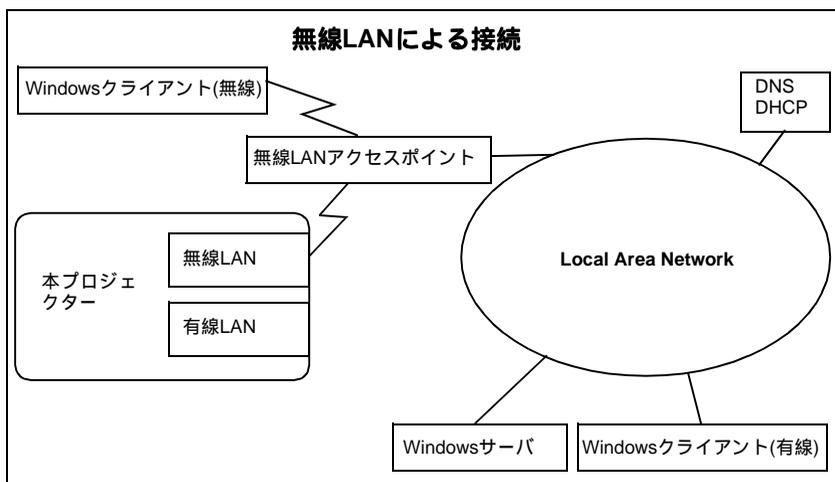
- プロジェクターを天井などに固定設置する場合は、ネットワークケーブルの配置について、あらかじめ考慮する必要があります。

ネットワークケーブル接続の設定

操作

- 1 プロジェクターのネットワークコネクタにネットワークケーブルを差し込み、ネットワークに接続します。
- 2 EasyMP.netでネットワークの設定を行います。
 - 『EasyMP.net セットアップガイド』の「ネットワーク接続の設定(ネットワークケーブルを使った接続のとき)」

接続例(2)：無線LANアクセスポイント経由でネットワークに接続



無線LANアクセスポイントを使った接続構成図

環境要件

- 学校やオフィスに無線LANを使える環境があり、プロジェクターを使用する教室や会議室からも、無線LANアクセスポイント経由でLANに接続できる。
- プロジェクターが天井などに固定設置されているため、ネットワークケーブルの接続が難しい。
- プロジェクターを使用する教室や会議室に、現在ネットワークケーブル接続の接続ポイントがなく、今後もネットワークケーブルの利用は難しい。

対応する無線LANカード

プロジェクターが対応する無線LANカードについては、『EasyMP.netセットアップガイド』の「使用できるPCカード」の「使用できる無線LANカード」を参照してください。

こんな使い方ができます

- プロジェクターを使用する教室や会議室に、発表者が各自ノートパソコン（無線LANが使えるもの）を持ち込み、無線LAN接続で発表します。
発表者は使い慣れた自分のノートパソコンなので操作しやすく、安心して発表できます。また複数の発表者が順番に発表する場合でも、コンピュータを接続し直す必要がありません。
- ネットワーク上のコンピュータから、プロジェクターの状態監視や管理を行います。
プロジェクターが複数ある場合も、ネットワーク上のコンピュータから一元管理できます。
プロジェクターが置かれている教室や会議室まで行く必要がありません。

留意点

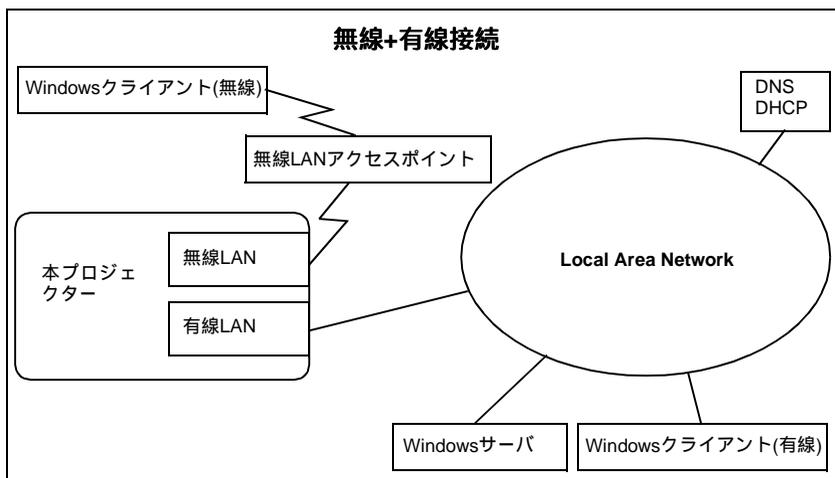
- 別途RADIUSサーバなどを設置することによって、セキュリティ対策も可能です。

無線LAN接続の設定

操作

- 1 プロジェクターのPCカードスロットに、無線LANカードを差し込みます。
- 2 EasyMP.netで無線LANの設定を行います。
● 『EasyMP.net セットアップガイド』の「ネットワーク接続の設定 無線LANを使った接続のとき」)

接続例(3)：無線LANアクセスポイント経由の接続と、ネットワークケーブル接続の組み合わせ



ネットワークケーブルと無線LANアクセスポイントを使った接続構成図

環境要件

- プロジェクターを使用する教室や会議室に、「独立した」無線LANのアクセスポイントがある、または設置可能だが、校内/オフィス内のLANには接続できない。
- 学校やオフィスにネットワークケーブル接続によるネットワーク環境があり、ネットワークケーブルを使えば、プロジェクターを使用する教室や会議室からもネットワークに接続できる。

対応する無線LANカード

プロジェクターが対応する無線LANカードについては、『EasyMP.netセットアップガイド』の「使用できるPCカード」の「使用できる無線LANカード」を参照してください。

こんな使い方ができます

- プロジェクターを使用する教室や会議室に、発表者が各自ノートパソコン（無線LANが使えるもの）を持ち込み、無線LAN接続で発表します。発表者は使い慣れた自分のノートパソコンなので操作しやすく、安心して発表できます。また複数の発表者が順番に発表する場合でも、コンピュータを接続し直す必要がありません。

- LAN 上のコンピュータにあるファイルも使用できます。サイズの大きなファイルなどを、わざわざノートパソコンにコピーする必要がありません。
- ネットワーク上のコンピュータにあるファイルだけを投写して発表する場合は、プロジェクターを使用する教室や会議室に、ノートパソコンを持ち込む必要がありません。
- LAN 上のコンピュータから、プロジェクターの状態監視や管理を行います。
- プロジェクターが複数ある場合も、LAN上のコンピュータから一元管理できます。
プロジェクターが置かれている教室や会議室まで行く必要がありません。

LANの設定方法

◇ネットワーク接続の設定

操作

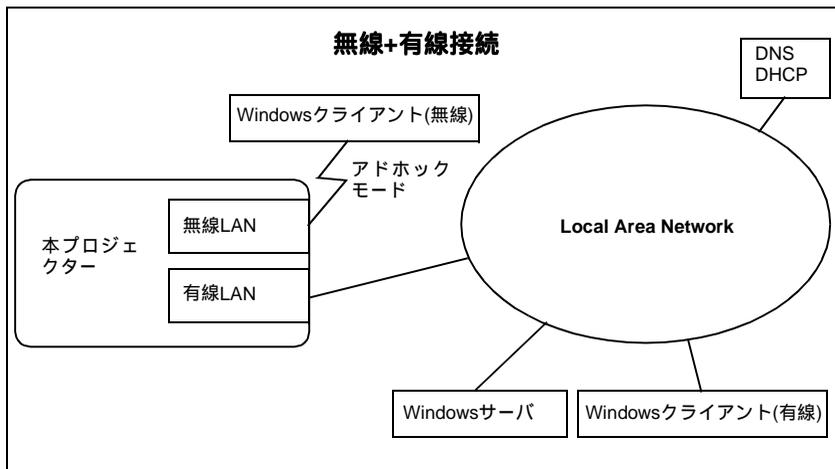
- 1 プロジェクターのネットワークコネクタにネットワークケーブルを差し込み、LANに接続します。
- 2 EasyMP.netでネットワークの設定を行います。
● 『EasyMP.net セットアップガイド』の「ネットワーク接続の設定(ネットワークケーブルを使った接続のとき)」

◇無線LAN接続の設定

操作

- 1 プロジェクターのPCカードスロットに、無線LANカードを差し込みます。
- 2 EasyMP.netで無線LANの設定を行います。
● 『EasyMP.net セットアップガイド』の「ネットワーク接続の設定(無線LANを使った接続のとき)」

接続例(4)：無線LANのアドホックモードを使った接続と、有線LAN接続の組み合わせ



ネットワークケーブルと無線LANアドホックモード（アクセスポイントを使わない接続）による接続構成図

環境要件

- プロジェクターを使用する教室や会議室に、現在無線LANのアクセスポイントがなく、今後も無線LANの利用は難しい。
- 学校やオフィスにネットワークケーブルを使ったネットワーク環境があり、ネットワークケーブルを使えばプロジェクターを使用する教室や会議室からもLANに接続できる。

対応する無線LANカード

プロジェクターが対応する無線LANカードについては、『EasyMP.netセットアップガイド』の「使用できるPCカード」の「使用できる無線LANカード」を参照してください。

こんな使い方ができます

- プロジェクターを使用する教室や会議室に、発表者が各自ノートパソコン（無線LANが使えるもの）を持ち込み、無線LAN接続で発表します。発表者は使い慣れた自分のノートパソコンなので操作しやすく、安心して発表できます。また複数の発表者が順番に発表する場合でも、コンピュータを接続し直す必要がありません。

- LAN 上のコンピュータにあるファイルも使用できます。サイズの大きなファイルなどを、わざわざノートパソコンにコピーする必要がありません。
- ネットワーク上のコンピュータにあるファイルだけを投写して発表する場合は、プロジェクターを使用する教室や会議室に、ノートパソコンを持ち込む必要がありません。
- LAN 上のコンピュータから、プロジェクターの状態監視や管理を行います。
プロジェクターが複数ある場合も、LAN上のコンピュータから一元管理できます。
プロジェクターが置かれている教室や会議室まで行く必要がありません。

留意点

- アドホックモードでの接続の場合、ネットワークケーブル接続・無線接続ともに、双方向のルーティング通信は行えません。

LANの設定方法

◇ネットワークケーブル接続の設定

操作

- 1 プロジェクターのネットワークコネクタにネットワークケーブルを差し込み、LANに接続します。
- 2 EasyMP.netでネットワークの設定を行います。
● 『EasyMP.net セットアップガイド』の「ネットワーク接続の設定(ネットワークケーブルを使った接続のとき)」

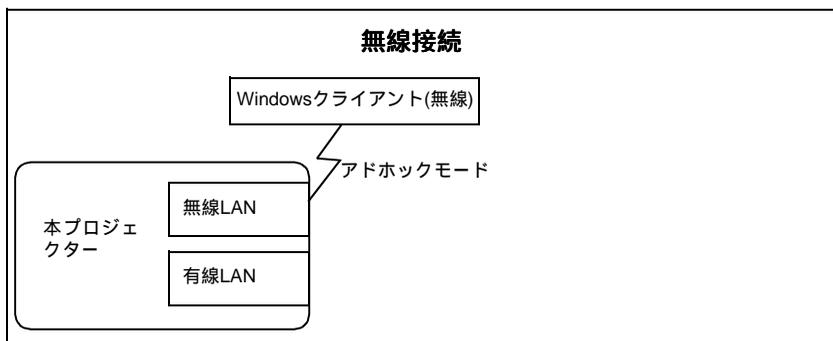
◇無線LAN接続の設定

操作

- 1 プロジェクターのPCカードスロットに、無線LANカードを差し込みます。
- 2 EasyMP.netで無線LANの設定を行います。
● 『EasyMP.net セットアップガイド』の「ネットワーク接続の設定(無線LANを使った接続のとき)」
無線LANの設定で、「アドホックモード」を必ず[有効]に設定してください。

構内ネットワーク環境がない場合

接続例(5)：無線LANのアドホックモードのみを使った接続



無線LANのアドホックモード（アクセスポイントを使わない接続）のみを使った接続構成図

環境要件

- 構内にネットワーク環境がないか、あっても何らかの事情でプロジェクターを使用する教室や会議室から構内ネットワークに接続できない。
- プロジェクターが天井などに固定設置されているため、ネットワークケーブルの接続が難しい。
- プロジェクターを使用する教室や会議室に、現在無線LANのアクセスポイントがなく、今後も無線LANの利用は難しい。

対応する無線LANカード

プロジェクターが対応する無線LANカードについては、『EasyMP.netセットアップガイド』の「使用できるPCカード」の「使用できる無線LANカード」を参照してください。

こんな使い方ができます

- プロジェクターを使用する教室や会議室に、発表者が各自ノートパソコン（無線LANが使えるもの）を持ち込み、無線LAN接続で発表します。発表者は使い慣れた自分のノートパソコンなので操作しやすく、安心して発表できます。また複数の発表者が順番に発表する場合でも、コンピュータを接続し直す必要がありません。

留意点

- この接続形態の場合、プロジェクターを使用する部屋の外のLANには接続していないため、部屋の中で無線LAN接続しているコンピュータ内のファイルのみが使用できます。

無線LANの設定方法

操作

- 1 プロジェクターのPCカードスロットに、無線LANカードを差し込みます。
- 2 EasyMP.netで無線LANの設定を行います。
 - 『EasyMP.net セットアップガイド』の「ネットワーク接続の設定(無線LANを使った接続のとき)」
無線LANの設定で、「アドホックモード」を必ず[有効]に設定してください。

ソフトウェアの追加インストール

Microsoft PowerPoint など、Windows XP対応の一部のアプリケーションソフトをインストールしてタスクマネージャから起動して使うことができます。

あらかじめインストールされている解除用プログラム(Software Extension)を使うと、次のアプリケーションソフトをインストールできるようになります。

- Application Installer
- Adobe Acrobat Reader
- Microsoft Office XP
- RealOne Player

上記以外のアプリケーションソフトがインストールできるのかや制限などの詳細情報の確認や、インストールに必要な解除プログラムのダウンロードは、エプソンのホームページ「I Love EPSON」から行えます。URLは裏表紙をご覧ください。



注意

- アプリケーションソフトをインストールしてお使いになる際は、使用許諾契約の内容に沿った使い方をしてください。使用許諾契約の内容に反する使い方をした場合、アプリケーションソフトの販売・開発元からアプリケーションソフトの使用を止められるなどのトラブルが生じることがあります。このようなトラブルにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- Software Extension には、プロジェクターにインストールするアプリケーションのライセンスは含まれておりません。プロジェクターにインストールするアプリケーションについては、お客様ご自身でライセンスを取得していただく必要があります。

インストール方法

ここでは、Microsoft PowerPointをインストールする手順を例にして説明します。

操作

- 1 タスクマネージャの[外部アプリケーションランチャ]をクリックします。



をクリックします。

- 2 [Software Extension] をクリックします。



Software Extensionが起動します。

以降は、画面の指示に従って進めてください。

- 3 ネットワーク上のWindowsが動作するコンピュータのCDドライブを共有設定にし、PowerPointのインストールCDをセットします。
- 4 接続したコンピュータのCDドライブを参照して、setup.exeをダブルクリックします。
インストールが開始されます。メッセージにしたがってインストールします。
- 5 インストールが終了したら、プロジェクターを再起動します。



ポイント

Adobe Acrobat Reader をインストールする場合は、手順2でインストールするアプリケーションを選択するときに、[Application Installer]と[Adobe Acrobat Reader]の両方にチェックを付けます。このように、インストールするアプリケーションによっては、Application Installer が必要になる場合があります。

インストールしたプログラムを起動する

操作

- 1 タスクマネージャの[外部アプリケーションランチャ]をクリックします。
インストールされたソフトウェアのアイコンが表示されます。



- 2 起動したいソフトウェアのアイコンをクリックします。
選択したプログラムが起動します。ファイルを開いてプレゼンテーションを行います。



異常通知のメールが送られてきたら

メール通知先に設定したメールアドレスに、件名が「EPSON Projector」と記載されたメールが送信されてきたら、それがプロジェクターの異常を通知するメールです。

メールの本文には以下のことが記載されています。

- 1 行目：異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名
- 2 行目：異常が生じたプロジェクターに設定されている IP アドレス▶
- 3 行目以降：異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの意味は、以下の通りです。

メッセージ	原因	対処方法
Internal error	内部異常	『取扱説明書』の「インジケータの見方」を参照して対処してください。
Fan related error	ファン異常	
Sensor error	センサ異常	
Lamp cover is open.	ランプカバー開状態	
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗	
Lamp out	ランプ切れ	
Internal temperature error	内部高温異常 (オーバーヒート)	
High-speed cooling in progress	高速冷却中	
Lamp replacement notification	ランプ交換勧告	
No-signal	ノーシグナル	プロジェクターに映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。

メッセージの最初に(+)や(-)が付きます。

- (+): 本プロジェクターに異常が発生した場合
(-): 本プロジェクターの異常が対処された場合

索引

アルファベット

EasyBoard	19
EasyBrowser	12
EasyConfiguration	24
EasyFile	10
EasyMarker	15
起動する	15
ツールの使い方	16
EasyMPnetの各種設定	24
EasyWeb	56
EMP Monitor	62
Network Screen	36
Remote Desktop	20
Windows XP Professionalへリモート接続	20

ア

アプリケーション

EasyBoard	30
EasyBrowser	31
EasyPlayer	31
Network Screen	30
アプリケーション設定	30
移動（ファイルの）	10

カ

外部アプリケーションランチャ	91
画像の再生	8
コピー（ファイルの）	10
コメント	
投写画像に付け加える	9
表示したホームページに付ける	14
コンピュータの映像	
プロジェクターで投写	36

サ

サウンドの再生	7
削除（ファイルの）	10
システム管理	
アクセス管理	25
キーボード	26
日時	26
メンテナンス	26
ユーザー管理	24
システム設定	26
実行（ファイルの）	10

スライドショー	5
全画面表示	
音声の再生	7
画像の再生	8
動画の再生	6
ホームページの表示	13
ソフトウェアの追加インストール	89

タ

タイム設定	33
動画の再生	6
登録ユーザーの管理	24
トラブル解決	71

ナ

ネットワーク

LAN	27
SNMP	29
プロジェクター名	27
無線LAN	28
メール通知機能	29
ネットワーク接続構成例	80
ネットワーク設定	27

ハ

ファイル

コピー、移動、削除、実行	10
ファイル形式	
動画、サウンド、画像	4
プレイリスト	5
プレゼンテーション	
説明書きをする	15
プロジェクター	
状況確認	62
制御を集中管理	62
設定をコンピュータで行う	56
ホームページの表示	12
ホワイトボードとして使う	19

マ

メール通知機能	
メールアドレスの設定	29

ラ

リモート接続	20
--------	----

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

Macintosh は、Apple Computer Inc. の登録商標です。

Windows、WindowsNT、Windows Media、PowerPoint は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Adobe、Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国およびその他の国における登録商標です。

「RealPlayer」は RealNetworks, Ink. の商標です。

EasyMP および EasyMP.net はセイコーエプソン株式会社の商標です。

EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

24時間 エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。

FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式会社の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからのご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス棟	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス棟	0263-66-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-66-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス棟	同 右	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス棟	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス棟	同 右	098-852-1420

*「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に向う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*修理について詳しくは、ホームページアドレス<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-004110 (ナビダイヤル) ※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式会社の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからのご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌 (011) 221-7911 東京 (042) 585-8500 名古屋 (052) 202-9532 大阪 (06) 6397-4359 福岡 (092) 452-3305

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

82202002

